2026年度第2四半期決算説明資料

Financial Results for Second Quarter FY2026
(for the year ending March 31, 2027)

2026年11月10日

川崎重工業株式会社

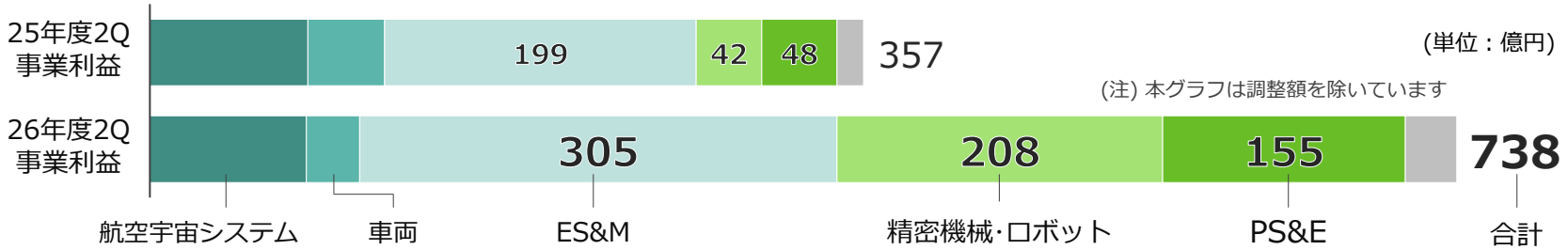
Kawasaki

Powering your potential

0 決算・業績見通しハイライト

2026年度第2四半期決算実績

- ✓ 事業利益は**738**億円（前年同期比+381億円）と順調な進捗
- ✓ ES&M、精密機械･ロボット、PS&Eが前年同期比で大きく伸長
  （要因は一過性利益の計上、販売増、採算性の向上、為替の円安推移など）



2026年度業績見通し

- ✓ 事業利益は50億円上方修正の**1850**億円（前期比+399億円）

外部環境の織り込みについて	■ 中東情勢影響：3月末まで足元の状況が継続するとの仮定を置き、材料調達難による生産遅延など一定程度のリスクを織り込み（詳細はP.17参照） ■ 米国関税政策影響：'26年11月10日時点で適用済み及び適用が見込まれる制度・税率で織り込み

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

0 目　次

1 2026年度第2四半期決算実績

サマリー	5
セグメント別	6
損益計算書	7
事業損益増減要因	9
財政状態計算書	11
キャッシュ・フロー計算書	13

2 2026年度業績予想

サマリー	16
事業損益増減要因	17
セグメント別	18

3 セグメント別詳細情報

航空宇宙システム	21
車両	25
エネルギーソリューション＆マリン（略称：ES&M）	29
精密機械・ロボット	33
パワースポーツ＆エンジン（略称：PS&E）	37

4 株主還元、その他

株主還元	42
プロジェクトトピックス	43
130周年特集	46
参考資料	47

ご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願い致します。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、税制や諸制度などがあります。なお、当社は2022年度第1四半期よりIFRS（国際財務報告基準）を適用しています。

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

1

2026年度第2四半期決算実績

Financial Results for Second Quarter FY2026
(for the year ending March 31, 2027)

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

1 2026年度2Q決算実績 – サマリー

- **前年同期比で増収・増益、2Qにおける売上収益・各利益はそれぞれ過去最高を記録**
- **好調な業績に加え、米国IEEPA関税還付や係争和解金、円安が利益を押し上げ**

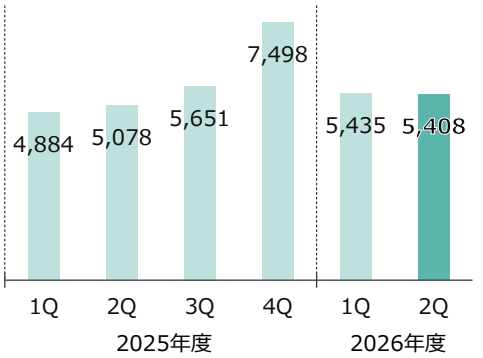
(単位：億円)

	'25年度2Q	'26年度2Q 4～6月期	'26年度2Q 7～9月期	'26年度2Q 累計	前年同期比 増減
受注高	10,154	5,257	5,154	**10,412**	+ 257
売上収益	9,962	5,435	5,408	**10,844**	+ 881
事業利益	357	357	381	**738**	+ 381
[利益率]	*[3.6%]*	*[6.6%]*	*[7.0%]*	*[6.8%]*	*[+ 3.2pt]*
税引前四半期利益	353	347	219	**567**	+ 214
[利益率]	*[3.6%]*	*[6.4%]*	*[4.1%]*	*[5.2%]*	*[+ 1.6pt]*
親会社の所有者に帰属する四半期利益	220	156	152	**309**	+ 88
[利益率]	*[2.2%]*	*[2.9%]*	*[2.8%]*	*[2.9%]*	*[+ 0.6pt]*
売上加重平均レート(USD/JPY) ※1	145.12	158.05	158.32	**158.18**	+ 13.06
損益影響外貨量(億USD) ※2	11.4	6.6	7.2	**13.8**	+ 2.4

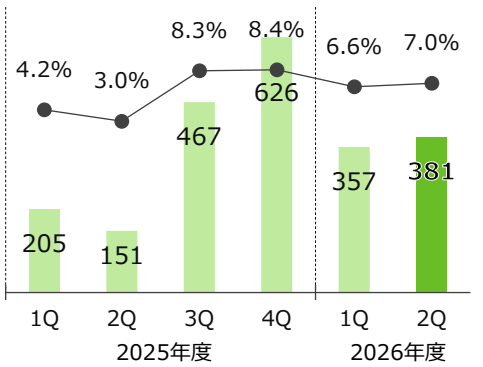
※1 PW1100G-JMエンジンの運航上の重要な問題に係る外貨建返金負債の評価替え影響を除く

※2 為替変動に伴い事業利益に影響を与える外貨量であり、川崎重工業、川崎車両、カワサキモータースのドル建売上からドル建仕入を控除して算出（損失引当済み案件の外貨建売上を含む。但し、各四半期にはPW1100G-JMエンジンの運航上の重要な問題に係る外貨建返金負債残高を含まない）。当該数値のセグメント別内訳はP.54を参照

四半期別 売上収益 (億円)



四半期別 事業利益 (億円), 利益率



© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

1 2026年度2Q決算実績 – セグメント別

- **ES&Mは子会社株式売却益の計上に加え、船舶海洋事業の採算性改善等により増益** ①
- **精密機械・ロボットは係争和解金の獲得に加え、建設機械向け油圧機器や半導体製造装置向けロボットが好調を維持し、増収・増益** ②
- **PS&EはIEEPA関税還付に加え、固定費の削減や円安効果等により増益** ③

(単位：億円)

	受注高			売上収益			事業損益		
	'25年度2Q	**'26年度2Q**	増減	'25年度2Q	**'26年度2Q**	増減	'25年度2Q	**'26年度2Q**	増減
航空宇宙システム	2,851	**2,041**	▲ 810	2,425	**2,826**	+ 400	101	**100**	▲ 1
車両	277	**573**	+ 295	1,193	**1,099**	▲ 94	49	**34**	▲ 15
ｴﾈﾙｷﾞｰｿﾘｭｰｼｮﾝ&ﾏﾘﾝ	2,375	**2,272**	▲ 102	1,873	**1,852**	▲ 20	199	**305**	+ 106
精密機械・ロボット	1,262	**1,789**	+ 526	1,170	**1,468**	+ 298	42	**208**	+ 166
ﾊﾟﾜｰｽﾎﾟｰﾂ&ｴﾝｼﾞﾝ	2,927	**3,184**	+ 256	2,927	**3,189**	+ 261	48	**155**	+ 107
その他	459	**550**	+ 90	371	**407**	+ 35	17	**33**	+ 16
調整額※	-	**-**	-	-	**-**	-	▲ 101	**▲ 99**	+ 1
合計	10,154	**10,412**	+ 257	9,962	**10,844**	+ 881	357	**738**	+ 381

※ 「調整額」には、本社部門で発生する費用で社内管理上各部門への配賦を行わない費用等を含みます

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

1 2026年度2Q決算実績 – 損益計算書

(単位：億円)

	'25年度2Q	百分率	'26年度2Q	百分率	増減	
売上収益	9,962	100.0	**10,844**	100.0	+	881
売上原価	8,149	81.8	**8,692**	80.2	+	543
売上総利益	1,813	18.2	**2,151**	19.8	+	338
販売費および一般管理費	1,549	15.6	**1,678**	15.5	+	128
うち 給料および手当	429		**492**		+	62
研究開発費	272		**281**		+	8
その他	846		**904**		+	57
持分法による投資利益	114		**156**		+	41
その他の収益および費用(▲は損)	▲ 21		**108**		+	129
うち 固定資産売却益	0		**1**		+	0
その他	▲ 22		**107**		+	129
事業利益	357	3.6	**738**	6.8	+	381

① ② ③

要因説明

① 販管費は売上成長に伴い増加も、固定費の抑制により販管費率は低下

② 主として船舶中国合弁会社での業績伸長

③ 主としてロボット事業における係争和解金の獲得等

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

1 2026年度2Q決算実績 – 損益計算書

(単位：億円)

	'25年度2Q	百分率	'26年度2Q	百分率	増減	
金融収益および費用(▲は損)	▲ 3		**▲ 170**		▲	167
うち 金融収支(受取配当金含む)	▲ 54		**▲ 56**		▲	1
為替差損益	76		**▲ 68**		▲	144
その他	▲ 24		**▲ 45**		▲	20
税引前四半期利益	353	3.6	**567**	5.2	+	214
法人所得税費用	107		**236**		+	128
非支配持分に帰属する四半期利益	25		**22**		▲	3
親会社の所有者に帰属する四半期利益	220	2.2	**309**	2.9	+	88

④

要因説明

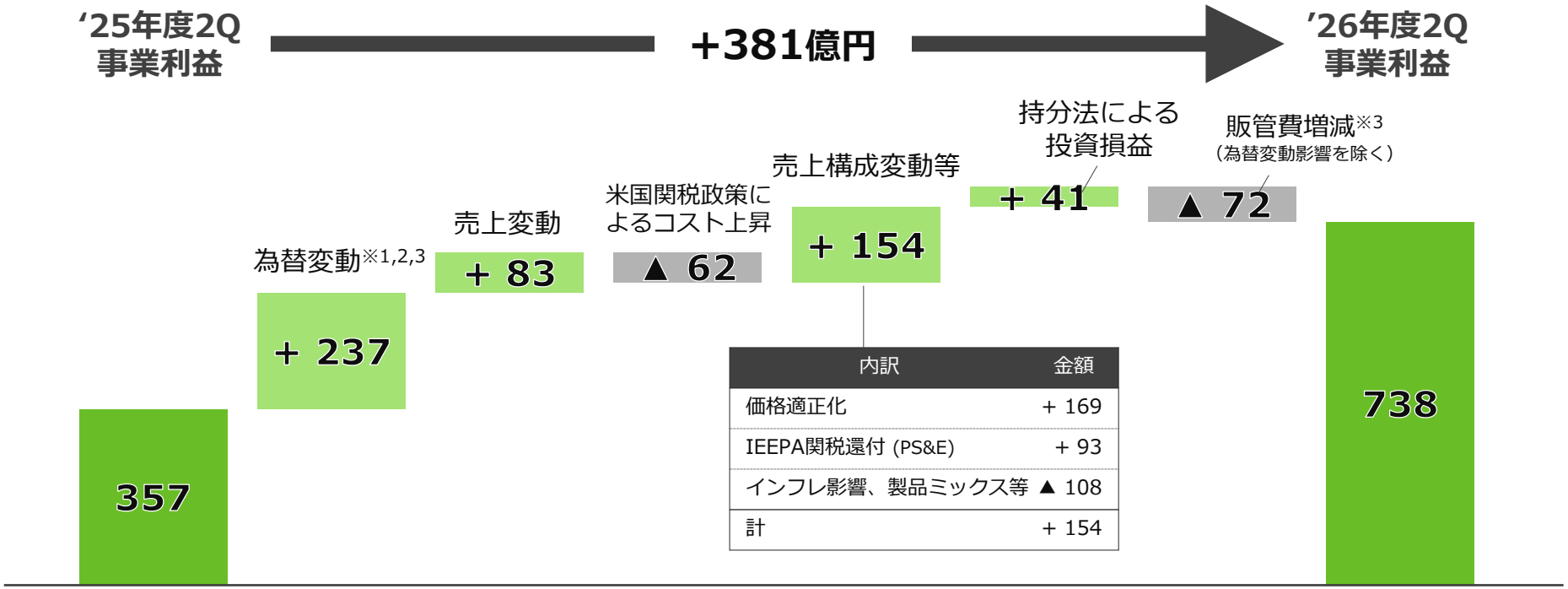
④ USD/JPYのレート差
’25年度期末日レート
159.93円
’26年度2Q末日レート
157.33円
’26年度2Q
売上加重平均レート
158.18円

外貨建債権の換算評価損が発生

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

1 2026年度2Q決算実績 – 事業損益増減要因

- **売上変動では航空宇宙システムや精密機械・ロボットの数量増が寄与**
- **売上構成変動では航空宇宙システムで一時的に悪化も、精密機械・ロボットやES&Mで一過性利益の計上および採算性の改善により良化**



内訳	金額
価格適正化	+ 169
IEEPA関税還付 (PS&E)	+ 93
インフレ影響、製品ミックス等	▲ 108
計	+ 154

※1 USDやEURを含む複数種類の通貨の変動に伴う事業利益への直接的な影響額を示していますが、間接的な影響額（物価変動影響など）は「売上構成変動等」および「販管費増減」に含まれています
※2 PW1100G-JMエンジンの運航上の重要な問題に係る外貨建返金負債残高の為替変動に伴う評価替え影響（▲1億円）を含む
※3 「販管費増減」は損益計算書表示上の増減値から為替変動による影響を控除した増減値を示しています。また、当該項目から控除された為替変動による影響は「為替変動」に含まれます（P.22以降に掲載されている各セグメントの増減要因グラフも同様 ）

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

1 2026年度2Q決算実績 – 事業損益増減要因

(単位：億円)

	'25年度2Q 事業利益	増減要因						増減 計	'26年度2Q 事業利益
		為替変動※1	売上変動※1	米国関税政策によるコスト上昇	売上構成変動等※1	持分法による投資損益	販管費※3 (▲は増加)		
航空宇宙システム	101	※2 83	37	▲ 1	▲ 82		▲ 38	▲ 1	100
車両	49	23	▲ 16		▲ 10	▲ 0	▲ 12	▲ 15	34
ｴﾈﾙｷﾞｰｿﾘｭｰｼｮﾝ&ﾏﾘﾝ	199	8	▲ 7		※4 62	42	1	106	305
精密機械・ロボット	42	28	58	▲ 7	※5 126	▲ 4	▲ 35	166	208
ﾊﾟﾜｰｽﾎﾟｰﾂ&ｴﾝｼﾞﾝ	48	95	2	▲ 54	※6 43	3	18	107	155
その他	17	0	9		14	0	▲ 7	16	33
調整額	▲ 101				1	▲ 0	0	1	▲ 99
合計	357	237	83	▲ 62	154	41	▲ 72	381	738

※1 増減要因のうち、為替変動、売上変動および売上構成変動等は、当社が一定の基準を定めて算出した概算値です。
　　また、それぞれの増減要因は不可分であることも多く、特に売上変動と売上構成変動等は合算した金額を確認することが望ましい場合があり得ます

※2 PW1100G-JMエンジンの運航上の重要な問題に係る外貨建返金負債残高の為替変動に伴う評価替え影響（▲1億円）を含む

※3 為替変動影響を除く

※4 プラント事業における子会社株式売却益31億円（当期発生）を含む

※5 ロボット事業における係争和解金収益（当期発生）を含む

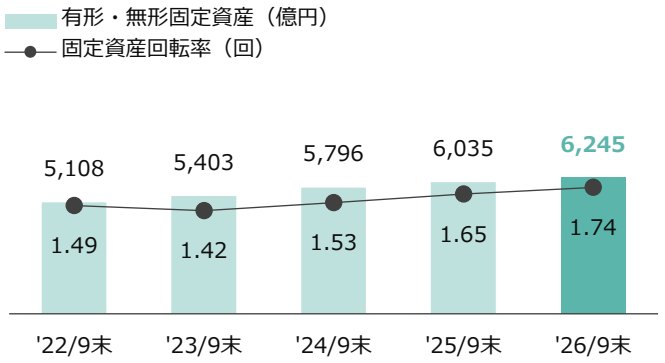
※6 IEEPA関税還付93億円（当期発生）を含む

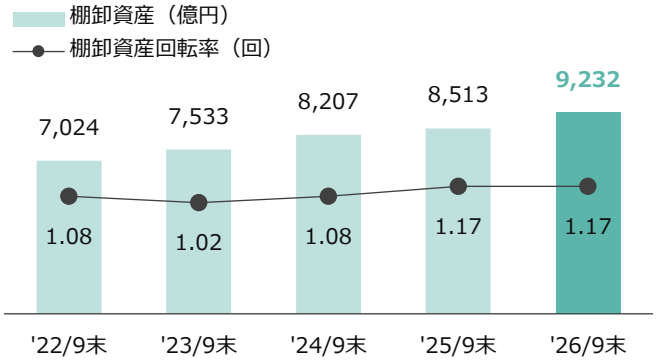
© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

1 2026年度2Q決算実績 – 財政状態計算書

(単位：億円)

	'25年度末	百分率	'26年度 2Q末	百分率	増減
現金および現金同等物	1,154		**876**		▲ 277
売掛債権（契約資産を含む）	10,363		**9,426**		▲ 937
棚卸資産	8,221		**9,232**		+ 1,010
その他	2,820		**3,159**		+ 338
流動資産 計	22,560	67.9	**22,694**	67.8	+ 134
有形・無形固定資産	6,254		**6,245**		▲ 8
使用権資産	679		**625**		▲ 53
繰延税金資産	1,194		**1,167**		▲ 26
その他	2,557		**2,740**		+ 182
非流動資産 計	10,685	32.1	**10,779**	32.2	+ 93
資産合計	33,246	100.0	**33,474**	100.0	+ 228





要因説明

① PS&Eやプラント事業等で減少

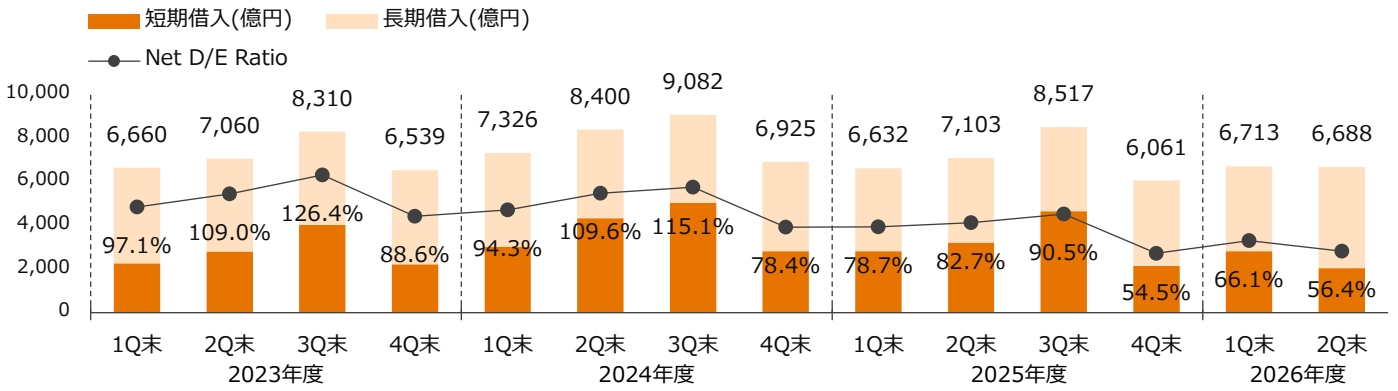
② 航空宇宙事業やPS&E、エネルギー事業等で増加

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

1 2026年度2Q決算実績 – 財政状態計算書

(単位：億円)

	'25年度末	百分率	'26年度 2Q末	百分率	増減
買掛債務	5,492		**5,338**		▲ 154
有利子負債	6,061		**6,688**		③ + 627
契約負債（前受金）	3,868		**3,760**		▲ 108
返金負債	833		**691**		▲ 142
退職給付に係る負債	506		**515**		+ 9
その他	6,998		**5,743**		④ ▲ 1,255
負債 計	23,761	71.5	**22,737**	67.9	▲ 1,023
親会社の所有者に帰属する持分	8,781		**10,048**		③ + 1,267
非支配持分	703		**688**		▲ 15
資本 計	9,484	28.5	**10,736**	32.1	+ 1,251
負債および資本合計	33,246	100.0	**33,474**	100.0	+ 228



要因説明

③ ’26年7月に実施した新株およびCBの発行に伴う増加等

④ PS&Eや航空宇宙事業における債権流動化に伴う債務の減少等

補足情報

Cash Conversion Cycle の推移（単位：日）

	CCC
’22年度2Q末	154
’23年度2Q末	154
’24年度2Q末	164
’25年度2Q末	155
’26年度2Q末	173

航空宇宙システムにおける売上債権回転日数の長期化等により悪化

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

1 2026年度2Q決算実績 – キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	'25年度2Q	'26年度2Q	増減
税引前四半期利益	353	**567**	+ 214
減価償却費	502	**534**	+ 32
運転資本構成項目の増減額	▲ 188	**▲ 607**	▲ 418
うち 売掛債権※1の増減額(▲は増加)	643	**842**	+ 198
棚卸資産の増減額(▲は増加)	▲ 707	**▲ 1,067**	▲ 359
仕入債務の増減額(▲は減少)	▲ 59	**▲ 140**	▲ 81
前渡金の増減額(▲は増加)	▲ 303	**▲ 141**	+ 162
契約負債※2の増減額(▲は減少)	238	**▲ 99**	▲ 338
その他	▲ 928	**▲ 1,375**	▲ 447
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 260	**▲ 880**	▲ 620
有形・無形固定資産の取得による支出	▲ 527	**▲ 561**	▲ 33
有形・無形固定資産の売却による収入	11	**2**	▲ 9
その他	▲ 180	**64**	+ 245
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 696	**▲ 494**	+ 201
フリー・キャッシュ・フロー	▲ 956	**▲ 1,375**	▲ 418
借入金および社債の純増減額(▲は減少)	53	**862**	+ 809
配当金の支払額(非支配株主への支払を除く)	▲ 133	**▲ 160**	▲ 26
債権流動化による収入および返済による支出	▲ 321	**▲ 374**	▲ 52
その他	674	**768**	+ 94
財務活動によるキャッシュ・フロー	271	**1,095**	+ 824

※1,2 売上債権には契約資産を含む。契約負債の旧科目名は前受金

要因説明

① PS&Eやプラント事業で売掛債権の回収が進んだものの、航空宇宙事業やPS&Eにおける棚卸資産の増加等があり、営業CFでは資金流出

② プラント事業における㈱アーステクニカ株式の譲渡対価70億円を含む

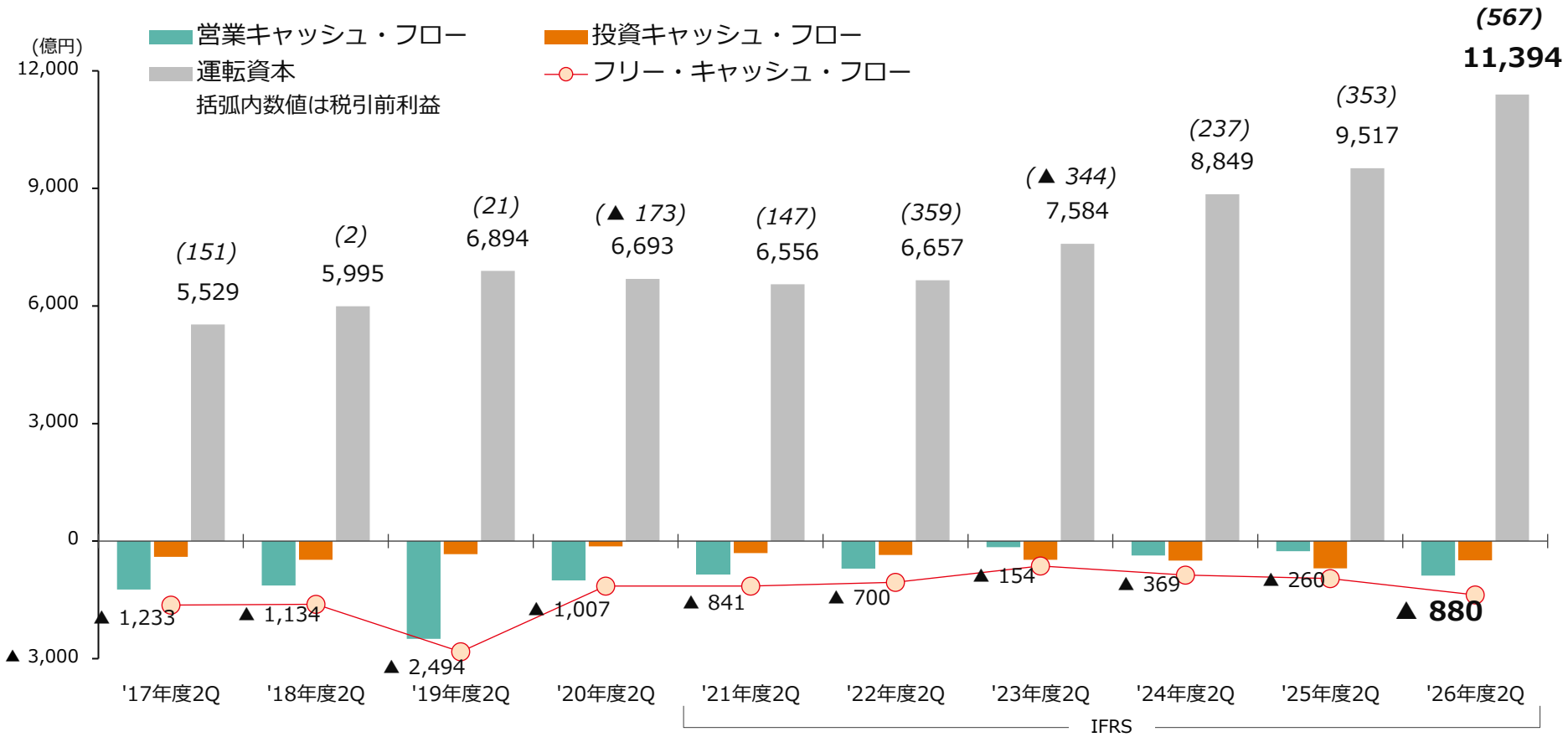
③ '26年7月に実施した新株およびCBの発行による資金調達影響を含む
新株： 934億円
CB： 1,010億円

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

1 2026年度2Q決算実績 – キャッシュ・フロー計算書

外貨建て売掛債権や棚卸資産の円安に伴う増加等もあり、運転資本が大きく増加

26年度2QのFCFは赤字も、通期では黒字を見込む（P.16参照）



※ 運転資本＝売掛債権＋棚卸資産＋前渡金－買掛債務－契約負債（前受金）

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

2

2026年度業績予想

Forecasts for FY2026
(for the year ending March 31, 2027)

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

2 2026年度業績予想 – サマリー

通期の事業利益予想は前回8月公表値から+50億円の上方修正

フリー・キャッシュ・フロー予想の開示を開始。通期黒字を見込む

(単位：億円)

	'25年度 実績	'26年度予想および進捗状況					
		従来予想	修正予想	前期比	従来予想比	2Q実績	3-4Q予想
受注高	27,391	24,200	**24,900**	▲ 2,491	+ 700	**10,412**	**14,488**
売上収益	23,112	25,600	**25,600**	+ 2,488	-	**10,844**	**14,756**
事業利益	1,451	1,800	**1,850**	+ 399	+ 50	**738**	**1,112**
[利益率]	[6.3%]	[7.0%]	[7.2%]	[+ 0.9pt]	[+ 0.1pt]	[6.8%]	[7.5%]
税引前当期利益	1,455	1,570	**1,610**	+ 155	+ 40	**567**	**1,043**
[利益率]	[6.3%]	[6.1%]	[6.3%]	[-]	[+ 0.1pt]	[5.2%]	[7.1%]
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,081	1,150	**1,180**	+ 99	+ 30	**309**	**871**
[利益率]	[4.7%]	[4.5%]	[4.6%]	[-]	[+ 0.1pt]	[2.9%]	[5.9%]
税後ROIC	9.0%	8.6%	**8.9%**	▲ 0.1pt	+ 0.3pt	**-**	**-**
フリー・キャッシュ・フロー	120	-	**200**	+ 80	-	**▲ 1,375**	**1,575**
売上加重平均レート(USD/JPY)	149.08	150.00	**-**	-	-	**158.18**	**150.00**
損益影響外貨量(億USD)※	22.0	27.9	**29.6**	+ 7.6	+ 1.7	**13.8**	**15.8**

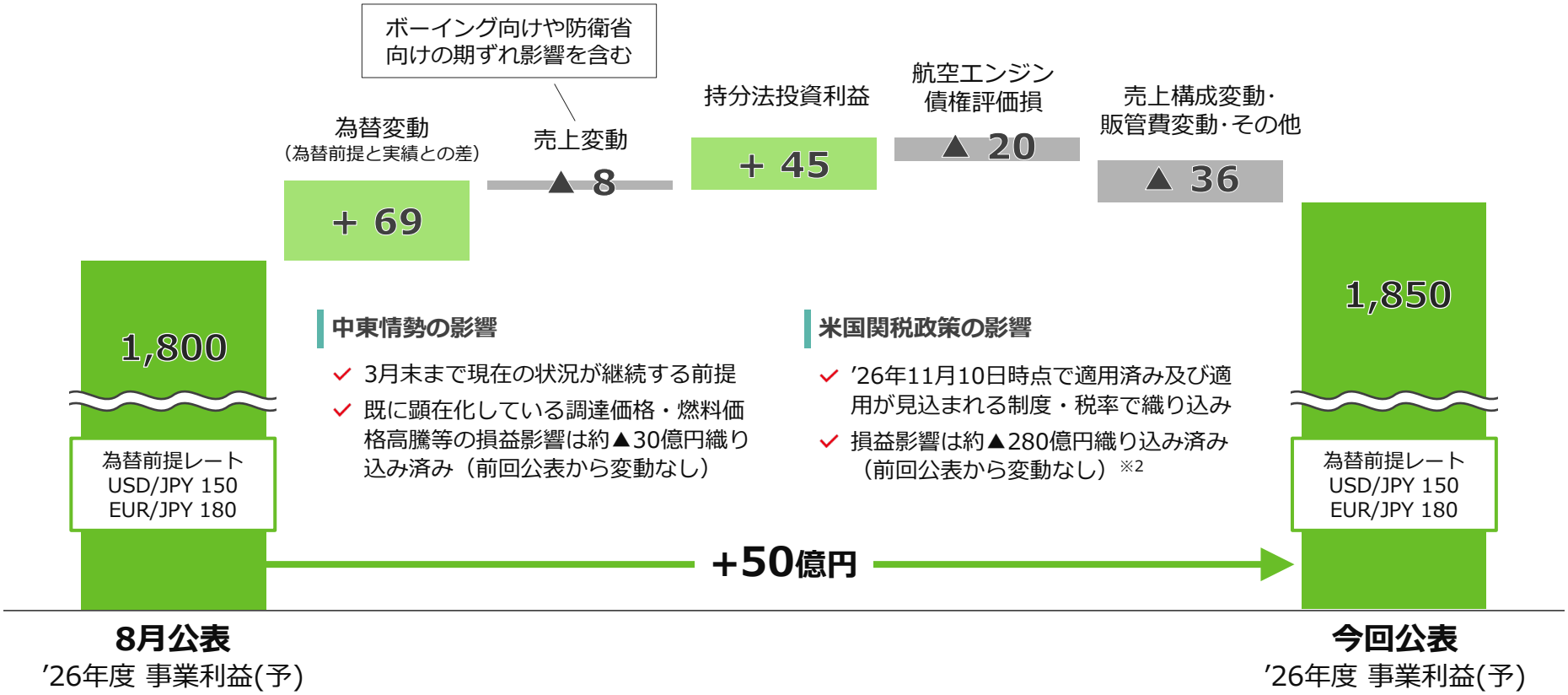
※ 為替変動に伴い事業利益に影響を与える外貨量であり、川崎重工業、川崎車両、カワサキモータースのドル建売上からドル建仕入を控除して算出（損失引当済み案件の外貨建売上を含む。当該数値のセグメント別内訳はP.54を参照

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

2 2026年度業績予想 – 事業損益増減要因※1

（注）グラフは8月に公表した計画からの変動を示しています。5月に公表した期初計画からの変動はP.51をご参照ください

航空宇宙システムにおける売上期ずれや一過性損失等はあるものの、為替の追い風に加え、持分法投資利益の増加等を織り込み上方修正



※1 増減要因の各数値は当社が一定の基準を定めて算出した概算値です。為替変動影響はUSDとEURを対象として算出し、その他通貨の変動影響は「売上構成変動･販管費変動･その他」に含まれています

※2 一時的に当社が関税等を負担する場合であっても、当該コストを契約等により取引先等に対して100%転嫁可能なものは集計から除外しています

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

2 2026年度業績予想 – セグメント別

- **航空宇宙システムではボーイング向けの期ずれ等により下方修正** ①
- **ES&Mでは船舶海洋事業などの好調を反映し、上方修正** ②

(単位：億円)

	受注高				売上収益				事業損益			
	'25年度	'26年度予想			'25年度	'26年度予想			'25年度	'26年度予想		
	実績	従来予想	**修正予想**	修正額	実績	従来予想	**修正予想**	修正額	実績	従来予想	**修正予想**	修正額
航空宇宙システム	8,109	6,300	**6,400**	+ 100	6,136	7,200	**7,100**	▲ 100	624	720	**680** ①	▲ 40
車両	3,191	1,300	**1,300**	-	2,362	2,300	**2,300**	-	86	100	**100**	-
ｴﾈﾙｷﾞｰｿﾘｭｰｼｮﾝ&ﾏﾘﾝ	5,529	5,000	**5,600**	+ 600	4,335	4,700	**4,700**	-	550	690	**750** ②	+ 60
精密機械･ﾛﾎﾞｯﾄ	2,785	3,300	**3,300**	-	2,591	3,100	**3,200**	+ 100	143	310	**330**	+ 20
ﾊﾟﾜｰｽﾎﾟｰﾂ&ｴﾝｼﾞﾝ	6,817	7,300	**7,300**	-	6,828	7,300	**7,300**	-	227	300	**300**	-
その他	959	1,000	**1,000**	-	858	1,000	**1,000**	-	70	40	**60**	+ 20
調整額※	-	-	**-**	-	-	-	**-**	-	▲ 253	▲ 360	**▲ 370**	▲ 10
合計	27,391	24,200	**24,900**	+ 700	23,112	25,600	**25,600**	-	1,451	1,800	**1,850**	+ 50

※「調整額」には、本社部門で発生する費用で社内管理上各部門への配賦を行わない費用等を含みます

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

空白スライド

Intentionally blank slide

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3

セグメント別詳細情報

Details by Segment

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3 セグメント別詳細情報 – 航空宇宙システム

2026年度2Q実績（前年同期比）

受注高 ▲810 億円
ボーイング向けが増加したものの、防衛省向けや民間機向け航空エンジンの減少などにより減少

売上収益 +400 億円
防衛省向けやボーイング向けなどが増加したことにより増収

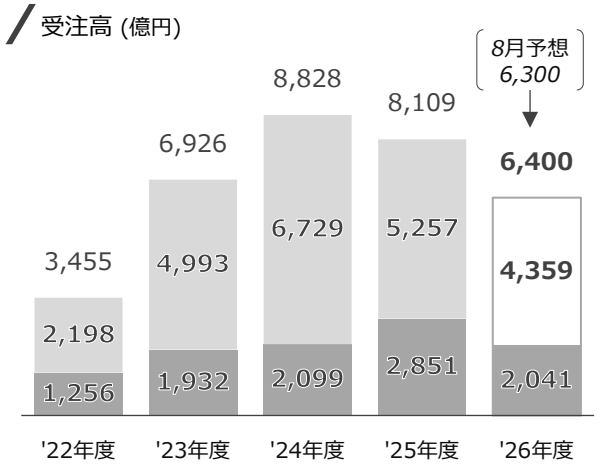
事業利益 ▲1 億円
増収はあるものの、研究開発費等の固定費や増産対応費用の増加に加え、売掛債権の評価損計上 (売上収益の減額)などにより前年同期並み

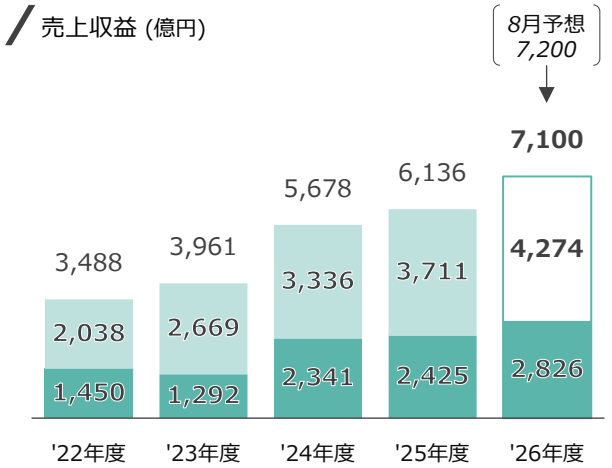
2026年度予想（従来予想比）

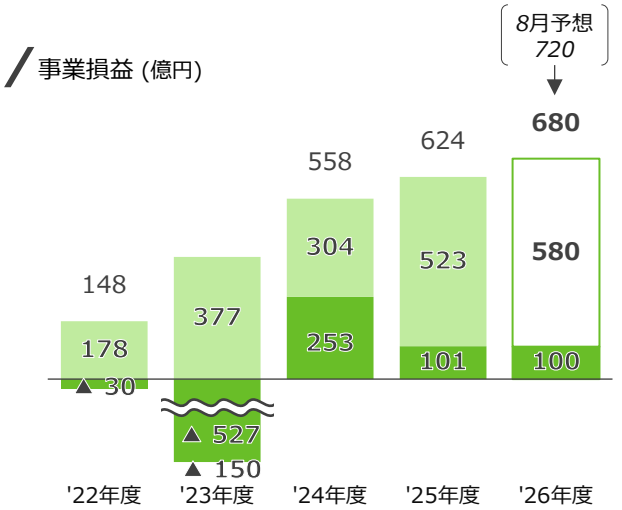
受注高 +100 億円
ボーイング向けの減少はあるものの、防衛省向けの増加などにより、見通しを引き上げ

売上収益 ▲100 億円
ボーイング向けや防衛省向けの期ずれにより、見通しを引き下げ

事業利益 ▲40 億円
減収や売掛債権の評価損計上 (売上収益の減額) などにより、見通しを引き下げ







(注) グラフは濃色部が1-2Q、淡色部が3-4Qを表します

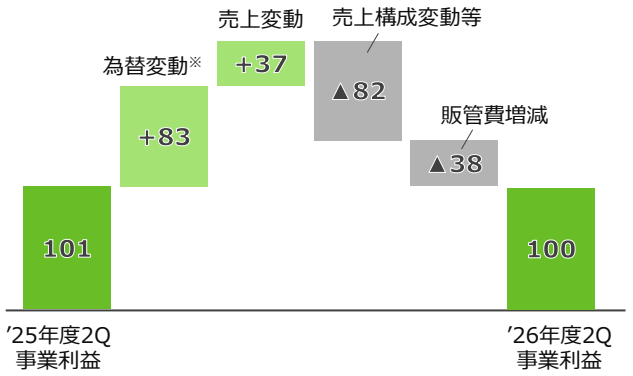
© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3 セグメント別詳細情報 – 航空宇宙システム

(単位：億円)

	'25年度 2Q実績	'26年度 2Q実績	'26年度 前年同期比	'25年度 通期	'26年度予想 従来予想	'26年度予想 修正予想	'26年度予想 前期比	'26年度予想 従来予想比	'26年度予想 3-4Q予想
受注高	2,851	**2,041**	▲ 810	8,109	6,300	**6,400**	▲ 1,709	+ 100	**4,359**
うち 航空宇宙	*1,957*	***1,318***	▲ *638*	*5,708*	*4,600*	***4,700***	▲ *1,008*	+ *100*	***3,382***
航空エンジン	*894*	***723***	▲ *171*	*2,401*	*1,700*	***1,700***	▲ *701*	-	***977***
売上収益	2,425	**2,826**	+ 400	6,136	7,200	**7,100**	+ 964	▲ 100	**4,274**
うち 航空宇宙	*1,659*	***1,983***	+ *323*	*4,456*	*5,250*	***5,100***	+ *644*	▲ *150*	***3,117***
航空エンジン	*765*	***842***	+ *76*	*1,680*	*1,950*	***2,000***	+ *320*	+ *50*	***1,158***
事業利益	101	**100**	▲ 1	624	720	**680**	+ 56	▲ 40	**580**
[利益率]	*[4.2%]*	*[3.6%]*	*[▲ 0.6pt]*	*[10.2%]*	*[10.0%]*	*[9.6%]*	*[▲ 0.5pt]*	*[▲ 0.4pt]*	*[13.6%]*

事業損益増減要因 (億円)



※ PW1100G-JMエンジンの運航上の重要な問題に係る外貨建返金負債残高の為替変動に伴う評価替え影響（▲1億円）を含む

補足情報

ボーイング向け航空機分担製造品の売上機数
(単位：機)

	'25年度 2Q	'25年度 通期	'26年度 2Q	2Q比増減
767	15	31	10	▲ 5
777	12	21	14	+ 2
777X	3	7	10	+ 7
787	25	64	42	+ 17

主要航空エンジン分担製造品の売上台数
(単位：台)

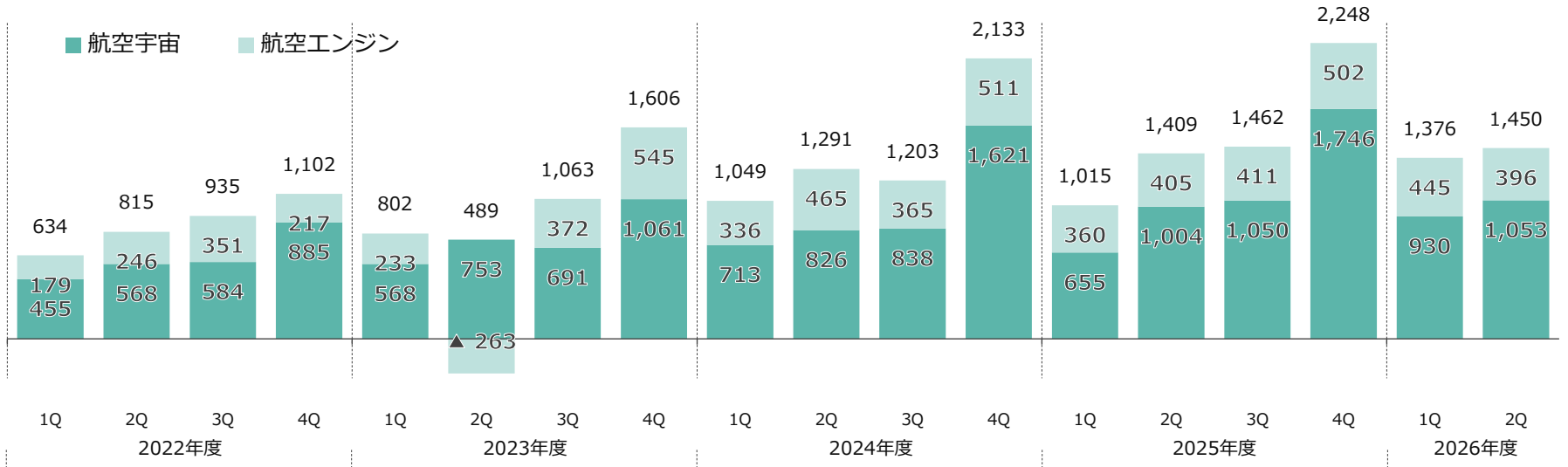
	'25年度 2Q	'25年度 通期	'26年度 2Q	2Q比増減
V2500	6	21	15	+ 9
PW1100G	321	666	347	+ 26

(注) Rolls-Royce向けエンジンは非公表

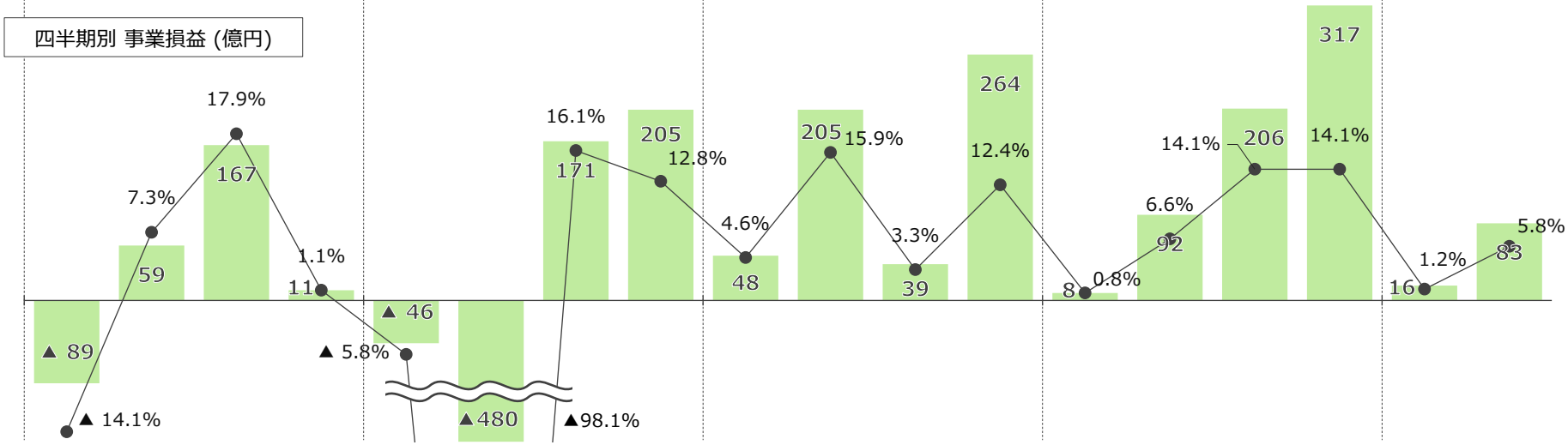
© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3 セグメント別詳細情報 – 航空宇宙システム

四半期別 売上収益 (億円)



四半期別 事業損益 (億円)



© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3 セグメント別詳細情報 – 航空宇宙システム

事業環境・受注動向

- 民間機向け
  - 航空旅客需要は回復から成長のフェーズに移行しており、機体･エンジンともに需要が増加
- 防衛省向け
  - 防衛省の抜本的な防衛力強化方針のもと、防衛予算のGDP比2%達成前倒しや、防衛三文書改訂の前倒し検討が開始されるなど、今後の更なる需要増および採算性改善に期待
- 防民共通
  - 戦略17分野※1に「航空･宇宙」「防衛産業」が選定されたことによる市場拡大の期待

※1 日本政府設置の「日本成長戦略会議」にて定められた官民連携で重点投資を進める領域

(補足) PW1100G-JMエンジンの運航上の問題に係る損失について

- ’23年度に本件に係る将来にわたる損失見込み額を一括計上※2しており、現時点で損失見込み額に変更なし※3
- 本件に関する当社のプレスリリース
  https://www.khi.co.jp/pressrelease/news_230912-2.pdf
  https://www.khi.co.jp/ir/pdf/etc_231026-1j.pdf

※2 2023年度7-9月期に事業損益段階で▲580億円の損失を計上
※3 為替変動に伴う評価替の影響を除く

重点施策と具体的な取り組み

事業の拡大に向けた体制整備

- 旺盛な需要に対応するサプライチェーンおよび増産体制の再整備
- 新たな事業機会獲得に向けた業務効率化と生産性の向上
- 防衛省向け各製品の開発推進、量産契約の着実な履行

防衛省「防衛力の変革」に沿った事業展開

- 3本柱･9項目への対応強化

1 「新しい戦い方」への対応

スタンド・オフ電子戦機、新対艦誘導弾、
多用途連携/消耗型無人機、エッジAI自律協調、
小型ジェットエンジン「KJシリーズ」



島嶼防衛用新対艦誘導弾
（出典:防衛装備庁ウェブサイト）

2 持続的な対応能力

P-1およびC-2による太平洋・シーレーン
防衛への貢献



スタンド・オフ電子戦機
試作機納入（’26年6月）

3 防衛力の基盤

増産体制・サプライチェーンの整備、
AI教官による統合教育訓練システム

市場動向を踏まえた技術戦略の推進

- 防衛力強化の実現に向けた民生技術の活用を含む技術開発の促進
- NEDOグリーンイノベーション基金活用による脱炭素社会に向けた環境技術開発の推進



KJ300
ターボファンエンジン

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3 セグメント別詳細情報 – 車両

2026年度2Q実績（前年同期比）

受注高 ↗
+295 億円
国内向け新型車両を受注したことなどにより増加

売上収益 ↘
▲94 億円
米国向けが増加したものの、国内向けが減少したことにより減収

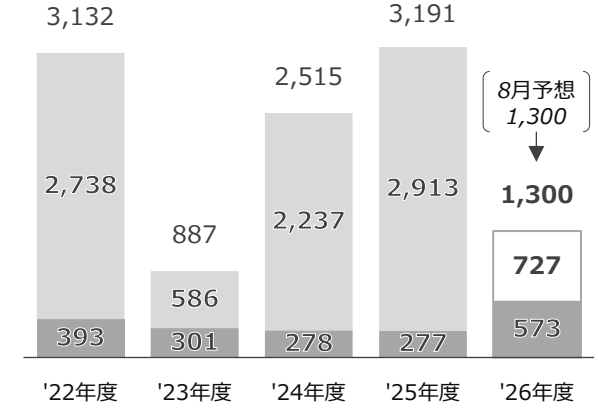
事業利益 ↘
▲15 億円
減収などにより減益

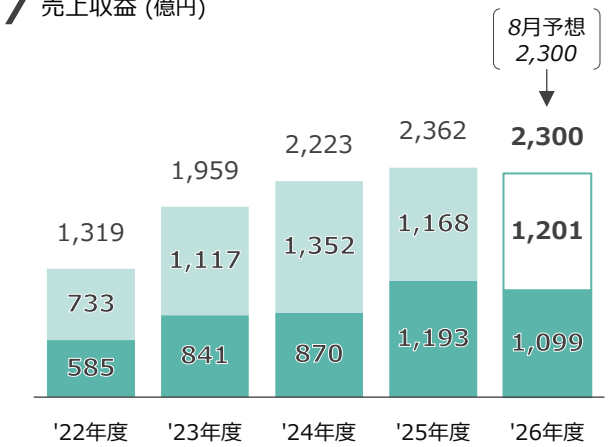
2026年度予想（従来予想比）

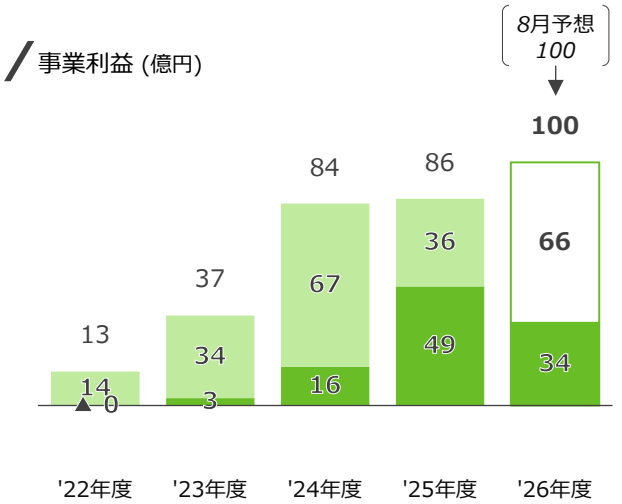
受注高 →
±0 億円
大きな変動はなく、見通しを据え置き

売上収益 →
±0 億円
同　上

事業利益 →
±0 億円
同　上







(注) グラフは濃色部が1-2Q、淡色部が3-4Qを表します

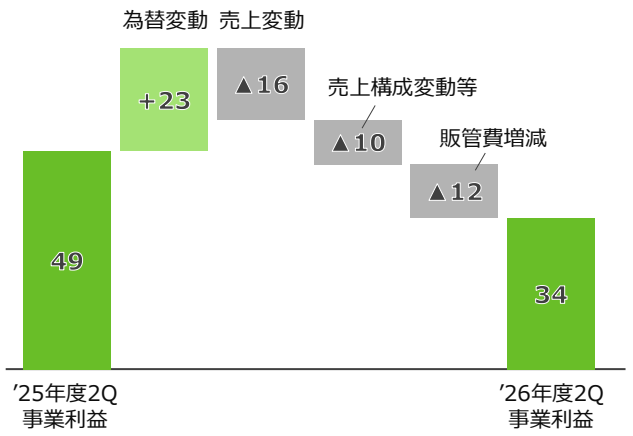
© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3 セグメント別詳細情報 – 車両

(単位：億円)

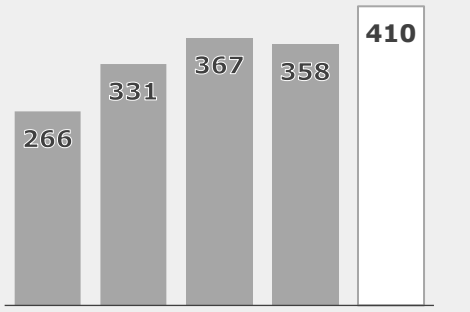
	'25年度 2Q実績	'26年度 2Q実績	前年同期比	'25年度 通期	'26年度予想 従来予想	修正予想	前期比	従来予想比	3-4Q予想
受注高	277	**573**	+ 295	3,191	1,300	**1,300**	▲ 1,891	-	**727**
うち 国内・アジア	*265*	***521***	+ *255*	*913*	*1,260*	***1,260***	+ *347*	-	***739***
北米	*12*	***52***	+ *40*	*2,278*	*40*	***40***	▲ *2,238*	-	***▲ 12***
売上収益	1,193	**1,099**	▲ 94	2,362	2,300	**2,300**	▲ 62	-	**1,201**
うち 国内・アジア	*398*	***254***	▲ *143*	*819*	*735*	***735***	▲ *84*	-	***481***
北米	*795*	***844***	+ *49*	*1,542*	*1,565*	***1,565***	+ *23*	-	***721***
事業利益	49	**34**	▲ 15	86	100	**100**	+ 14	-	**66**
[利益率]	*[4.2%]*	*[3.1%]*	*[▲ 1.0pt]*	*[3.7%]*	*[4.3%]*	*[4.3%]*	*[+ 0.6pt]*	*[-]*	*[5.5%]*

事業損益増減要因 (億円)



補足情報

部品･改造･アフター関連売上(単位：億円)



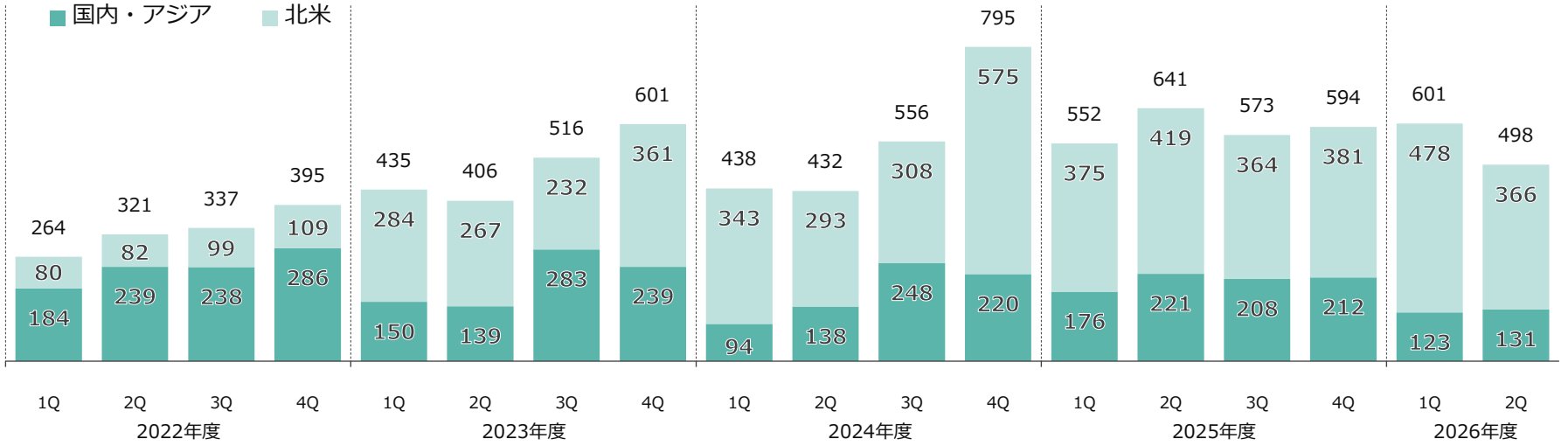
米国ニューヨーク地下鉄向け
R211プロジェクトの進捗状況（'26年9月末）

- Base契約車両全535両を完納
- Option1契約車両640両のうち、**510両を引き渡し済み**
- Option2契約車両435両は25年1月に受注済み

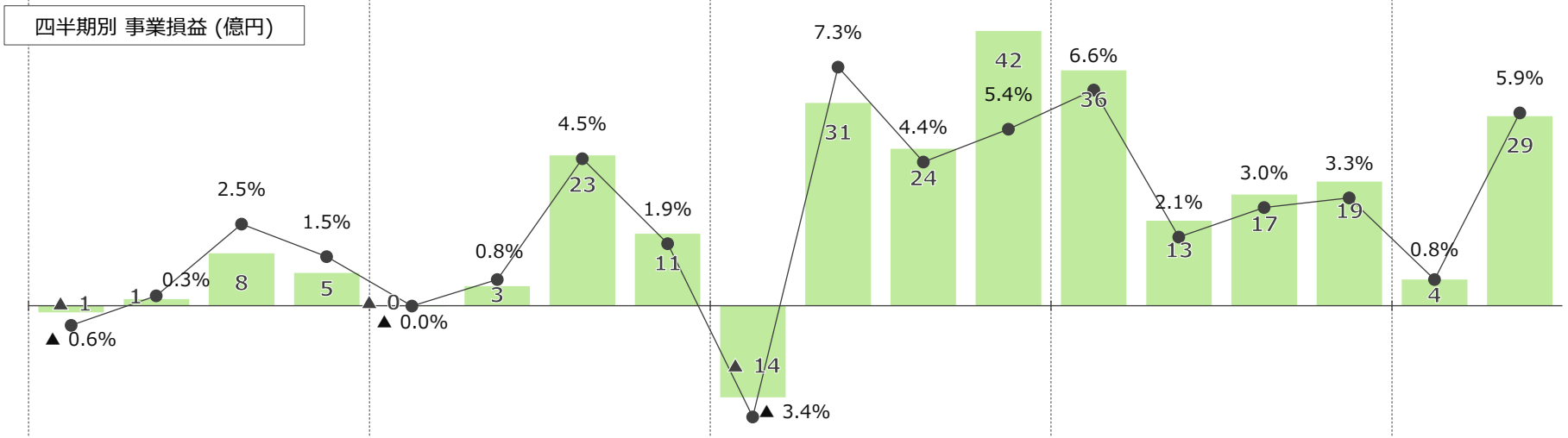
© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3 セグメント別詳細情報 – 車両

四半期別 売上収益 (億円)



四半期別 事業損益 (億円)



© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3 セグメント別詳細情報 – 車両

事業環境・受注動向

- 国内市場
  - 旺盛なインバウンド需要により鉄道車両への投資が継続
- 海外市場
  - 大都市における混雑緩和対策のための都市交通整備などに伴い需要が見込まれる
- 中長期展望
  - 海外市場における交通整備、アジア諸国の経済発展に伴う鉄道インフラニーズなど、今後も世界的に安定した成長が見込まれる

(補足) 中東情勢の影響について

- 溶剤等の調達難により当社の生産工程に影響が発生。代替材の入手やグローバル拠点間での調達連携強化により影響最小化を図るとともに、顧客との納期調整交渉を実施

重点施策と具体的な取り組み

海外案件の納入スケジュール遵守

案件	ステータス	マイルストーン
ダッカ 6号線	▸ 完納（全24編成144両を顧客に引渡し済）	最終車両引渡し 2024年度4Q完了 基地設備引渡し 2026年度
NYCT R268 地下鉄	▸ 2025年12月に378両を受注済（受注額：約2,250億円）	最終車両引渡し 2030年度

顧客に信頼される品質レベルの達成

- 仕損じ、手直し費用の削減
- 国内外の各生産拠点でのKPS (Kawasaki Production System)による生産管理の継続



天竜浜名湖鉄道㈱向け THG100形電気式気動車（GreenDEC®）

部品・サービスの拡販、保守分野の事業拡大

- 北米向け軌道遠隔監視装置の拡販
- 国内鉄道事業者への車両状態監視装置の拡販
- 新型電気式気動車「GreenDEC®」の地域鉄道への拡販を通じ、導入から状態監視・運用支援・部品供給に至る鉄道のライフサイクルにわたる一貫したサポートを実現

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3 セグメント別詳細情報 – エネルギーソリューション＆マリン

2026年度2Q実績（前年同期比）

受注高 ▲102 億円
防衛省向けの大口受注などがあった前年同期と比べ減少

売上収益 ▲20 億円
プラント事業の減収はあったものの、船舶海洋事業の増収などにより前年同期並み

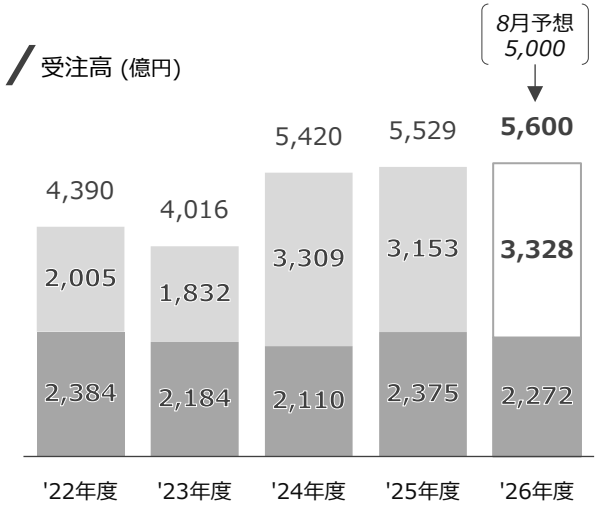
事業利益 +106 億円
子会社株式の売却益計上や持分法投資利益の増加などにより増益

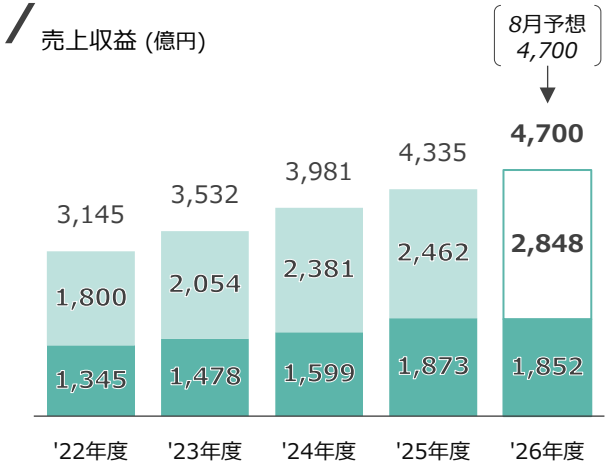
2026年度予想（従来予想比）

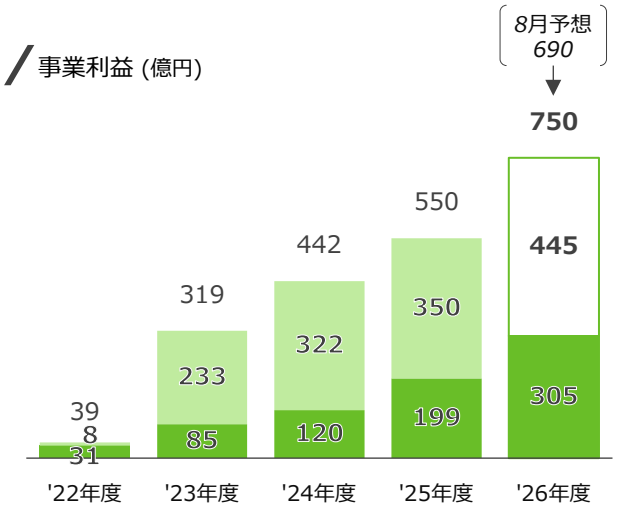
受注高 +600 億円
LPG/アンモニア運搬船の増加などより、見通しを引き上げ

売上収益 ±0 億円
大きな変動なく、見通しを据え置き

事業利益 +60 億円
持分法投資利益の増加や採算性の改善などにより、見通しを引き上げ







(注) グラフは濃色部が1-2Q、淡色部が3-4Qを表します

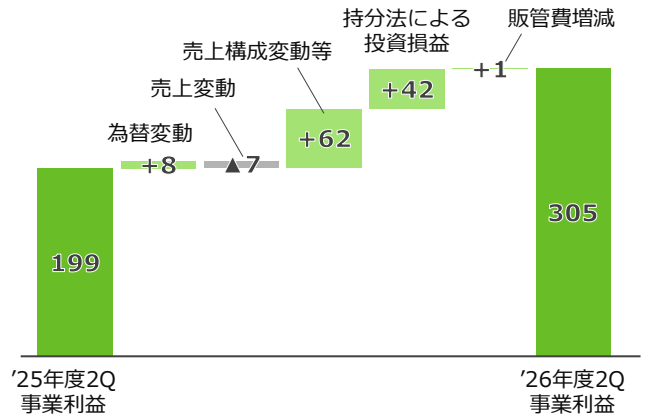
© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3 セグメント別詳細情報 – エネルギーソリューション&マリン

(単位：億円)

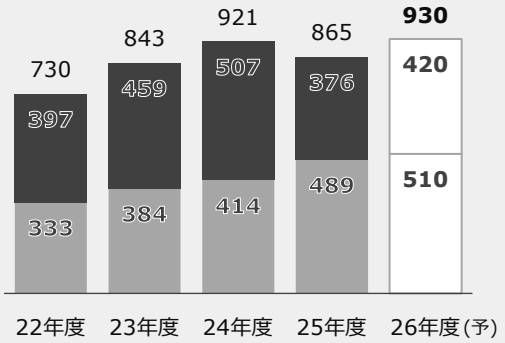
	'25年度	'26年度		'25年度	'26年度予想				
	2Q実績	2Q実績	前年同期比	通期	従来予想	修正予想	前期比	従来予想比	3-4Q予想
受注高	2,375	**2,272**	▲ 102	5,529	5,000	**5,600**	+ 71	+ 600	**3,328**
うち エネルギー・プラント・舶用推進	*1,813*	***2,184***	+ *371*	*4,562*	*3,800*	***4,000***	▲ *562*	+ *200*	***1,816***
船舶海洋	*562*	***88***	▲ *474*	*966*	*1,200*	***1,600***	+ *634*	+ *400*	***1,512***
売上収益	1,873	**1,852**	▲ 20	4,335	4,700	**4,700**	+ 365	-	**2,848**
うち エネルギー・プラント・舶用推進	*1,352*	***1,299***	▲ *53*	*3,239*	*3,450*	***3,450***	+ *211*	-	***2,151***
船舶海洋	*520*	***552***	+ *32*	*1,096*	*1,250*	***1,250***	+ *154*	-	***698***
事業利益	199	**305**	+ 106	550	690	**750**	+ 200	+ 60	**445**
[利益率]	*[10.6%]*	*[16.5%]*	*[+ 5.8pt]*	*[12.7%]*	*[14.7%]*	*[16.0%]*	*[+ 3.3pt]*	*[+ 1.3pt]*	*[15.6%]*
うち 持分法投資利益	115	**158**	+ 42	237	275	**320**	+ 83	+ 45	**162**

事業損益増減要因 (億円)

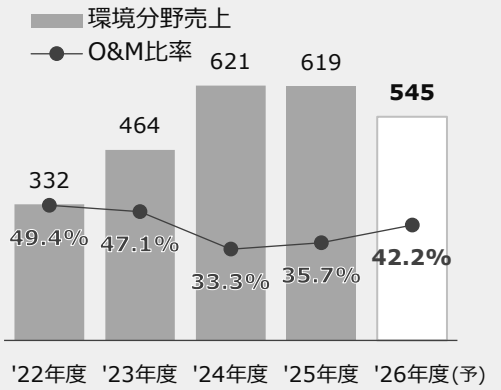


補足情報

エネルギー事業における主要製品の売上 (億円)
(上段：機器関連　下段：アフターサービス)

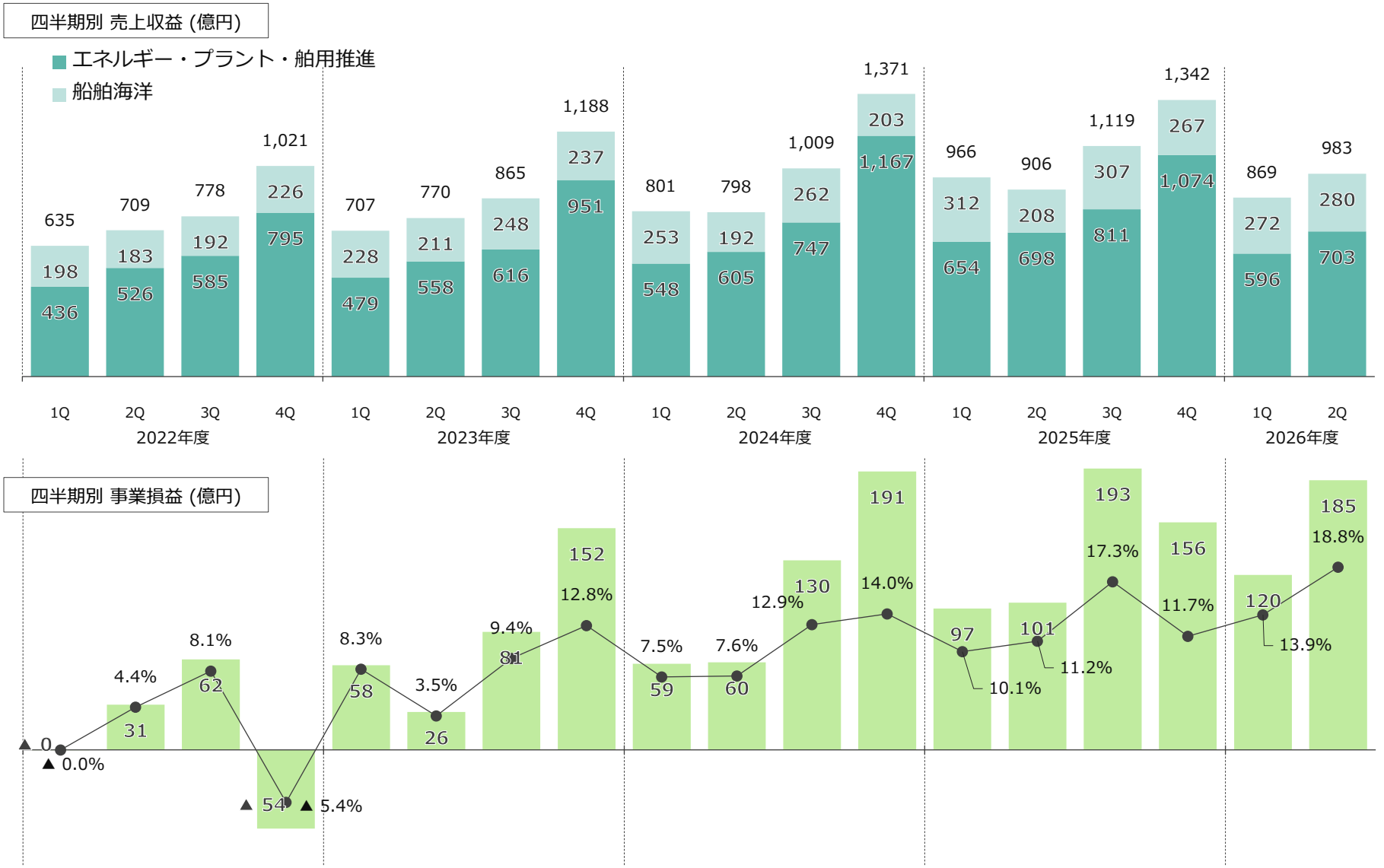


プラント事業における環境分野の売上 (億円)



© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3 セグメント別詳細情報 – エネルギーソリューション＆マリン



© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3 セグメント別詳細情報 – エネルギーソリューション＆マリン

事業環境・受注動向

● エネルギー･プラント

国内	海外
– 発電設備及びエネルギーインフラ整備の需要が堅調 – ごみ焼却設備の老朽化更新需要の継続	– データセンター向け電源として分散電源用途のガスタービン・ガスエンジンの引き合いが堅調

● 船舶海洋･舶用推進

商船	艦艇・特殊船
– 建造コストの上昇や船台需給ひっ迫により船価は高値継続傾向 – 日本政府方針のもと建造量増強に向け設備投資が造船各社活発化	– 水上艦主機・発電システムの連続受注 – 潜水艦は安定的な受注

● セグメント全体

リスク	カーボンニュートラル
– 米国関税政策や中東情勢の影響による物流・為替動向 – 原材料価格や資機材･燃料費、人件費の継続的な上昇	LNG回帰に伴うトランジションソリューションや、KCC※などの脱炭素ソリューションに関する問い合わせや協力要請が増加

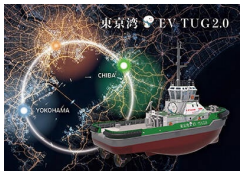
※ Kawasaki CO_2 Capture：CO_2分離･回収システム

重点施策と具体的な取り組み

低炭素･脱炭素社会の実現に貢献する製品･サービスの提供

事例 株式会社ダイトーコーポレーションから電動タグボート向け高出力型電気推進システムを受注

- 24年度初受注に続く2隻目
- 東京湾内での曳船作業に幅広く対応可能な高出力仕様により、今後の電動タグボートのスタンダードモデルを目指す





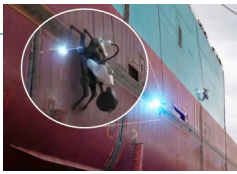
画像左から
- 電動タグボートのイメージ
- 電気推進システム受注に関する調印式

次世代造船の実現に向けた取り組み

プロジェクトトピックス P.43

事例 NVIDIAの技術を活用した「次世代デジタルシップヤード」の実現に向けたコラボレーションを開始

- デジタルツイン (例：NVIDIA Omniverseライブラリ) を活用し、造船プロセスを最適化
- 造船AIロボットの導入により、省人化と生産性向上を推進
- 建造データを運航・保守へ活用し、船舶ライフサイクル全体の高度化を推進
- 生産量**1.5倍**、ライフサイクルコスト**10～20%削減**を目指す



壁面や階段でも自律作業が可能な造船AIロボット（イメージ）

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3 セグメント別詳細情報 – 精密機械・ロボット

2026年度2Q実績（前年同期比）

受注高 ↗ +526 億円
中国建設機械市場向け油圧機器や半導体製造装置向けロボットの増加などにより増加

売上収益 ↗ +298 億円
同　上

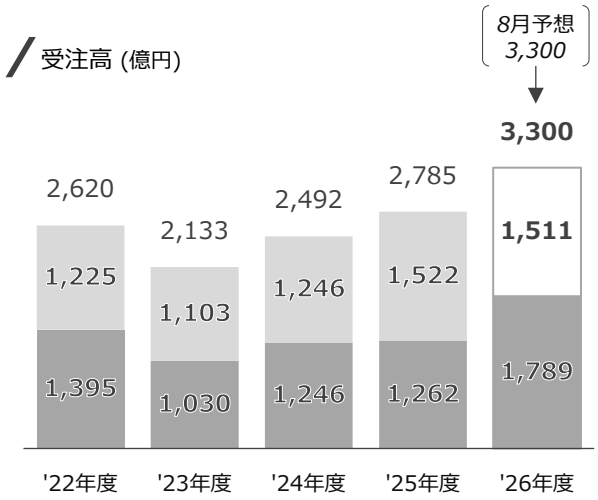
事業利益 ↗ +166 億円
増収や係争和解金の獲得などにより増益

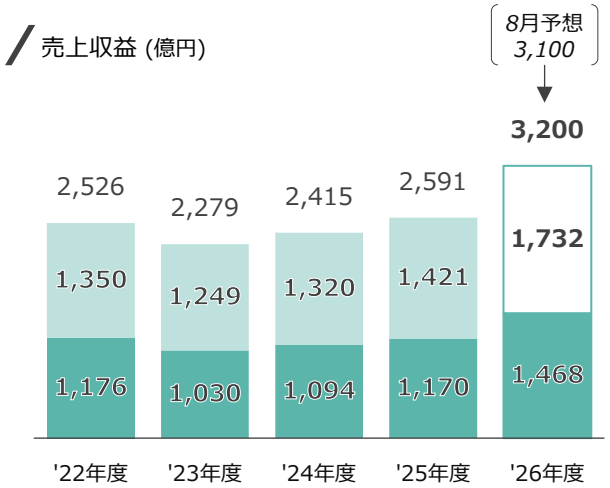
2026年度予想（従来予想比）

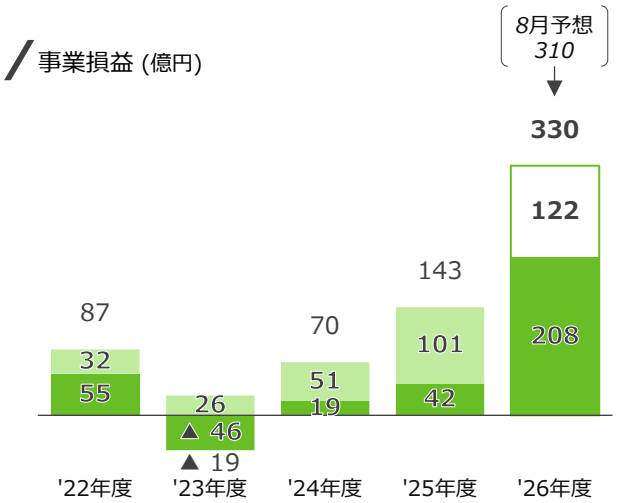
受注高 → ±0 億円
大きな変動はなく、見通しを据え置き

売上収益 ↗ +100 億円
中国建設機械市場向け油圧機器や半導体製造装置向けロボットの増加などにより、見通しを引き上げ

事業利益 ↗ +20 億円
調達コストの上昇はあるものの、増収により見通しを引き上げ







(注) グラフは濃色部が1-2Q、淡色部が3-4Qを表します

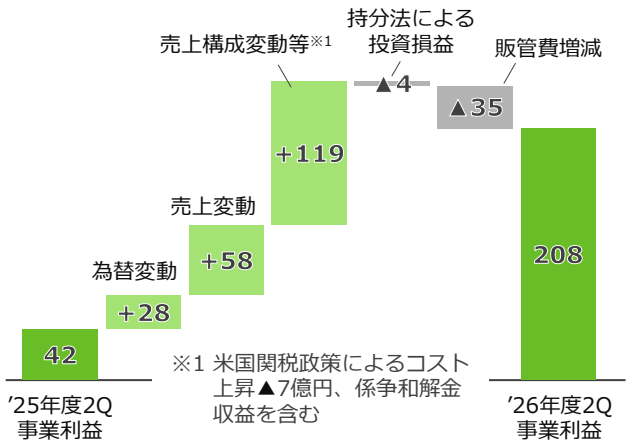
© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3 セグメント別詳細情報 – 精密機械・ロボット

(単位：億円)

	'25年度 2Q実績	'26年度 2Q実績	前年同期比	'25年度 通期	'26年度予想 従来予想	修正予想	前期比	従来予想比	3-4Q予想
受注高	1,262	**1,789**	+ 526	2,785	3,300	**3,300**	+ 515	-	**1,511**
うち 油圧機器	*857*	***1,044***	+ *186*	*1,731*	*2,100*	***2,100***	+ *369*	-	***1,056***
ロボット	*405*	***745***	+ *340*	*1,053*	*1,200*	***1,200***	+ *147*	-	***455***
売上収益	1,170	**1,468**	+ 298	2,591	3,100	**3,200**	+ 609	+ 100	**1,732**
うち 油圧機器	*787*	***963***	+ *176*	*1,661*	*1,950*	***2,000***	+ *339*	+ *50*	***1,037***
ロボット	*382*	***505***	+ *122*	*929*	*1,150*	***1,200***	+ *271*	+ *50*	***695***
事業利益	42	**208**	+ 166	143	310	**330**	+ 187	+ 20	**122**
[利益率]	*[3.6%]*	*[14.2%]*	*[+ 10.5pt]*	*[5.6%]*	*[10.0%]*	*[10.3%]*	*[+ 4.7pt]*	*[+ 0.2pt]*	*[7.0%]*
うち 持分法投資損益	0	**▲ 3**	▲ 4	7	5	**5**	▲ 2	-	**8**

事業損益増減要因 (億円)

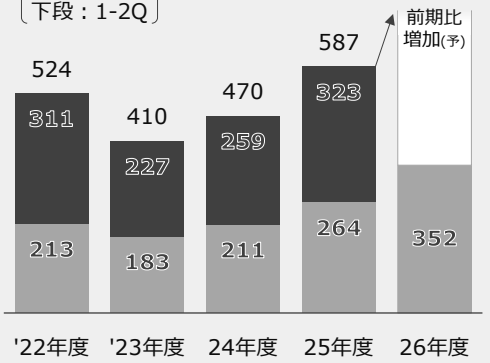


※1 米国関税政策によるコスト上昇▲7億円、係争和解金収益を含む

補足情報

中国向け油圧機器売上 (億円)

上段：3-4Q
下段：1-2Q



ロボット分野別売上※2

上段：2Q
下段：通期

(単位：億円)

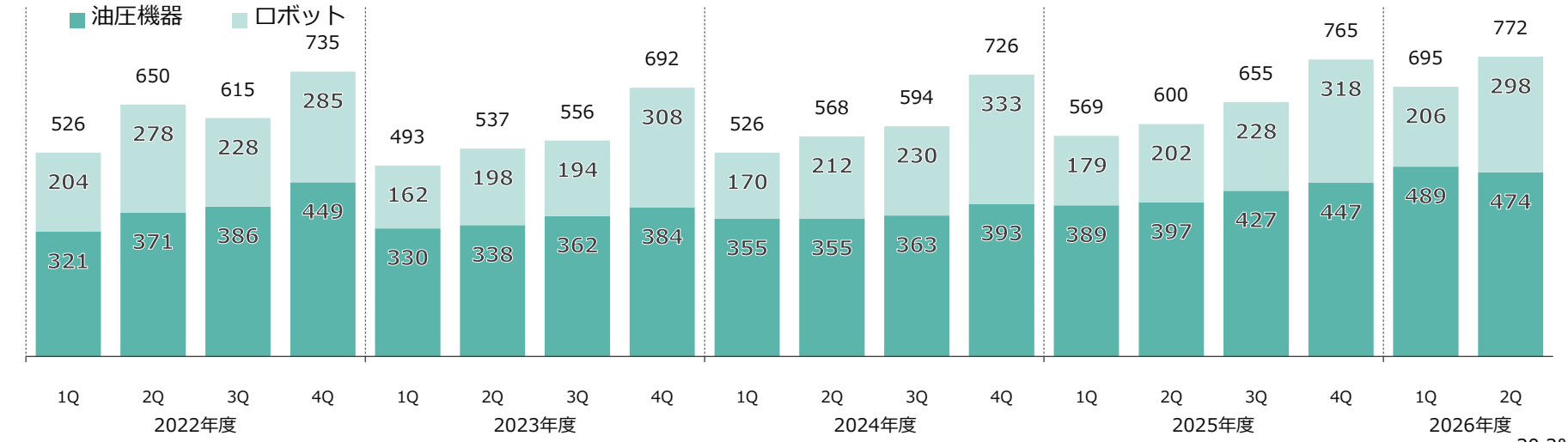
	'25年度	'26年度	増減
車体組立	133	153	+ 19
・塗装	368	(予) 390	+ 22
半導体	183	263	+ 79
	379	(予) 545	+ 166
一般産機	109	147	+ 37
・その他	278	(予) 355	+ 79
合計	426	563	+ 136
	1,025	(予) 1,290	+ 265

※2 本表数値はセグメント間売上を含む

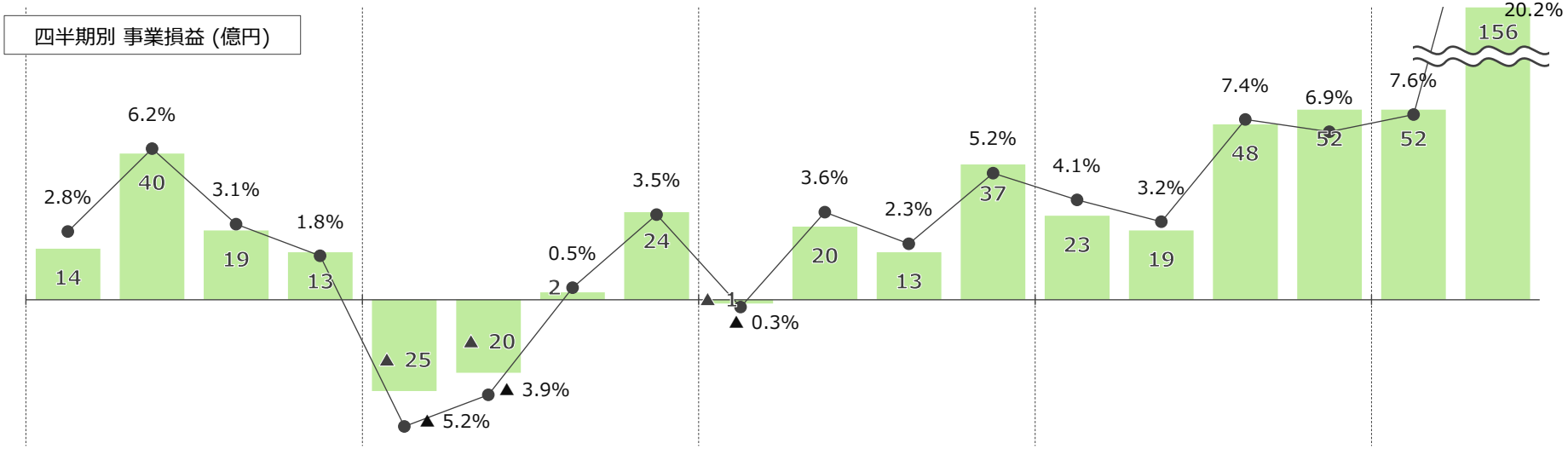
© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3 セグメント別詳細情報 – 精密機械・ロボット

四半期別 売上収益 (億円)



四半期別 事業損益 (億円)



© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3 セグメント別詳細情報 – 精密機械・ロボット

事業環境・受注動向

● 油圧機器

中国建機向け

- 鉱山用大型機向けやアフリカ、東南アジア地域への輸出機向け需要が堅調

中長期的な建設機械市場の動向

- 燃料高騰による燃費改善要請や環境規制を背景とした電動化・効率化と、建設現場の熟練労働者不足、過酷な作業環境に起因する自動化・自律化、遠隔操作が進む

中国以外の地域の市場

- 米国：パイプライン工事やAIデータセンター関連投資等が市場を牽引
- インド：政府がインフラ予算の大幅拡大を表明、需要増加傾向

● ロボット

半導体製造装置向け

- AI分野の急成長および汎用メモリの需要増により増加傾向

一般産機・その他

- 人件費上昇や労働力不足を背景としてスマートファクトリー需要は確実に高まっている

重点施策と具体的な取り組み

油圧事業の発展に向けた施策

新製品開発/市場開拓

- 建機向け電動化・自動化、遠隔操作製品開発
- 油圧機器およびロボット技術応用によるタフロボット技術開発
- 水素圧縮機、燃料電池システム等の開発、防衛関連製品の拡充

グローバル生産体制の見直し

- 艾崎精密機械（蘇州）有限公司での生産拡大によるコスト競争力の高いモデルの展開推進

サービス事業の強化

- 海外販売ネットワークの構築・拡大によるサービス事業の強化

ボッシュ·レックスロス社と技術協業に関する基本合意を締結(’26年9月)



ロボット事業の戦略的挑戦



高付加価値領域への集中投資

- 半導体市場の本格的な成長に備えた供給体制整備
- 新分野 (真空/後工程·EFEM·工場自動化etc.) の拡大

増産投資の決定

- ✓ 75億円を投資し、生産能力を拡大
- ✓ 既存建屋を活用することで早期立ち上げを図る
- ✓ ‘27年度に**1.5**倍、‘29年度に**2**倍に増強（’26年度比）

医療向け事業の強化

- 手術支援ロボット hinotori™ の欧州展開（メディカロイド社、シスメックス社と共同）
- 遠隔操作技術等による差別化（FORRO・mapxusとの連携）

成長分野への投資加速

- 日中開発生産体制によるコスト競争力の強化
- 成長分野へリソースシフト加速
- ソーシャルロボット事業の具体化（医療・介護）

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3 セグメント別詳細情報 – パワースポーツ＆エンジン

2026年度2Q実績（前年同期比）

売上収益 ↗
+261 億円

先進国向け二輪車の減少等はあったものの、汎用エンジンの増加や為替レートが円安で推移した影響などにより増収

事業利益 ↗
+107 億円

米国IEEPA関税の還付や販売促進費の抑制、固定費の減少に加え、為替レートが円安で推移した影響などにより増益

2026年度予想（従来予想比）

売上収益 →
±0 億円

大きな変動はなく、見通しを据え置き

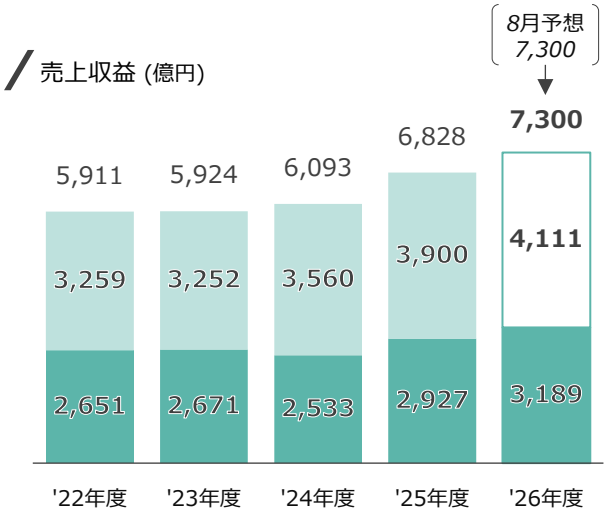
事業利益 →
±0 億円

同　上

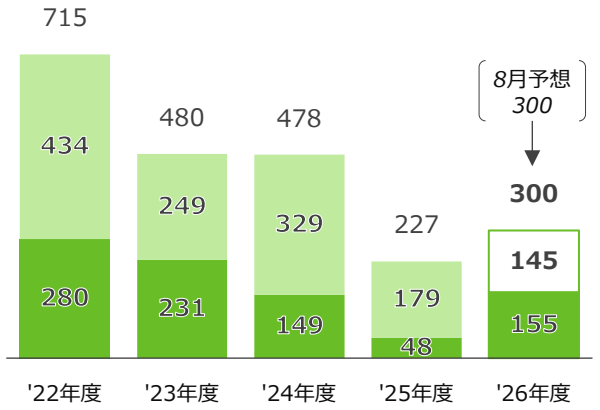
受注高 (億円)

本セグメントは主として見込み生産を行っていることから、受注高については売上収益と原則同額としているため、定性情報およびグラフの掲載を省略しています

売上収益 (億円)



事業利益 (億円)



(注) グラフは濃色部が1-2Q、淡色部が3-4Qを表します

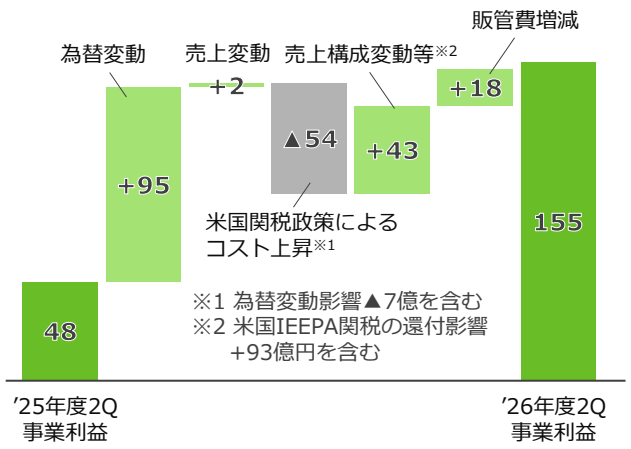
© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3 セグメント別詳細情報 – パワースポーツ＆エンジン

(単位：億円)

	'25年度 2Q実績	'26年度 2Q実績	前年同期比	'25年度 通期	'26年度予想 従来予想	修正予想	前期比	従来予想比	3-4Q予想
売上収益	2,927	**3,189**	+ 261	6,828	7,300	**7,300**	+ 472	-	**4,111**
うち 先進国二輪車	*1,122*	***1,041***	▲ *80*	*2,619*	*2,700*	***2,700***	+ *81*	-	***1,659***
新興国二輪車	*480*	***538***	+ *57*	*1,026*	*1,100*	***1,100***	+ *74*	-	***562***
四輪車・PWC	*847*	***961***	+ *114*	*2,114*	*2,350*	***2,350***	+ *236*	-	***1,389***
汎用エンジン	*477*	***647***	+ *169*	*1,067*	*1,150*	***1,150***	+ *83*	-	***503***
事業利益	48	**155**	+ 107	227	300	**300**	+ 73	-	**145**
[利益率]	*[1.7%]*	*[4.9%]*	*[+ 3.2pt]*	*[3.3%]*	*[4.1%]*	*[4.1%]*	*[+ 0.7pt]*	*[-]*	*[3.5%]*

事業利益増減要因 (億円)



補足情報

地域別販売台数（卸売）　(単位：千台)

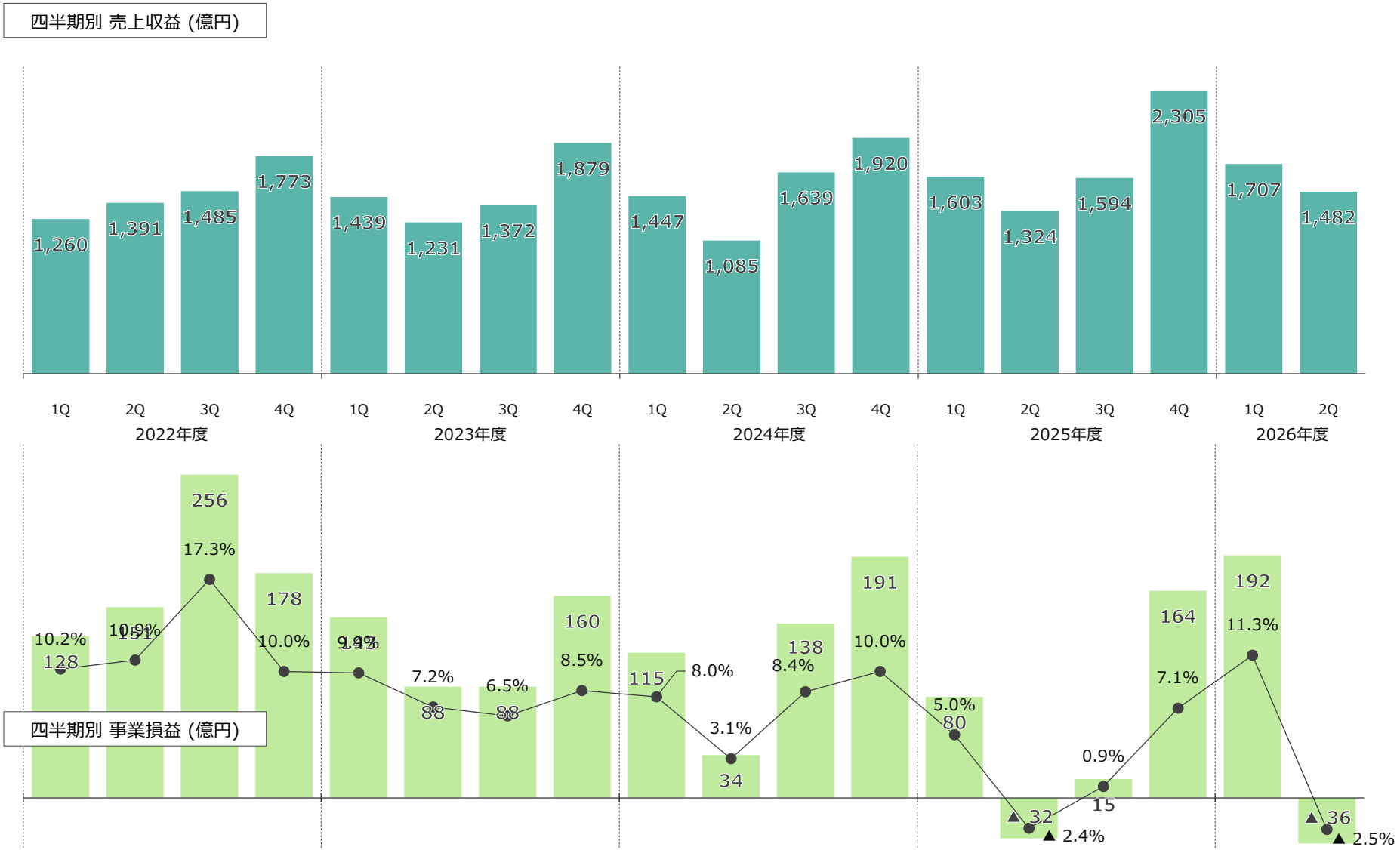
		'25年度2Q	'26年度2Q	増減	'26年度(予)
先進国二輪車	日本	16	12	▲ 4	
	北米	46	31	▲ 15	
	欧州	35	33	▲ 2	
	その他※	5	5	▲ 0	
小計		104	82	▲ 21	230
新興国二輪車	フィリピン	97	91	▲ 6	
	インドネシア	8	11	+ 3	
	中南米	7	11	+ 4	
	その他※	12	13	+ 0	
小計		125	127	+ 1	280
四輪車・PWC	北米ほか	35	38	+ 2	90

(※) 先進国二輪車および新興国二輪車の「その他」に含まれる国または地域における前年同期比増減トレンドは以下のとおり

豪州：
中国：
タイ：

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3 セグメント別詳細情報 – パワースポーツ＆エンジン



© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

3 セグメント別詳細情報 – パワースポーツ＆エンジン

事業環境・受注動向

- 米国（二輪）
  - 物価高騰や高金利等を背景に小売の軟調が継続
- 米国（四輪）
  - レクリエーション市場の軟調が継続する一方、ユーティリティ市場はフルキャブモデルを中心に堅調に推移
  - 当社は主力モデルの販売が好調に推移
- 米国（共通）
  - 関税措置による需要減退影響等の懸念
  - 物価高騰と高金利による消費マインドの低下懸念
- 欧州
  - 市場は回復基調で推移する一方、中国ブランドの販売拡大により競争環境が激化
- 東南アジア
  - 一部地域で増加傾向が見られるも、依然としてスポーツセグメントは低水準で推移

(補足) 中東情勢の影響について

- 原材料価格の変動や、物流面でのコスト上昇と遅延リスクは継続しているものの、価格適正化やコスト改善を推進し影響の低減を図る

重点施策と具体的な取り組み



更なる進化を遂げたフラッグシップ
Ninja H2 CARBON

市場動向に応じた製品の供給

- カワサキブランドに根差した魅力あるモデルの投入
- 需要動向に応じた機動的な生産・販売と適正在庫水準の維持

四輪ビジネスの強化

- 北米市場に即したマーケットイン型の商品力向上を通じ、競争優位性の確立と収益基盤を強化
- 北米2工場（アメリカ／メキシコ）の効率的かつ柔軟な活用による外部環境変化への迅速な対応

脱炭素社会の実現

- 川崎重工の総合技術力を生かし、電動化や水素エンジンなど多様な選択肢でカーボンニュートラルに貢献

伊藤忠商事グループとの協業推進

- ‘25年4月に伊藤忠商事と合弁で設立したユーザー向けファイナンス会社Kawasaki Motors Retail Finance, LLC. (米国) の成長により、更なる事業拡大と顧客基盤強化を目指す
  - 進捗 同社ファイナンス利用率は順調に拡大中
    最優遇金利でのファイナンスを通じ小売拡大へ貢献
  - 計画 データ活用等を通じたファイナンス商品の開発、利用率向上と優良資産の積み上げを目指す
- 新興市場における新規市場開拓に加え、重点市場での販売拡大に向けた取組を共同推進中

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

4

株主還元、その他

Shareholder Returns and Other Information

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

4 株主還元

配当政策
ー ‘26年度配当見通し ー　前回公表から変更なし

長期的な株主価値向上と、より安定的かつ
継続的な株主還元を両立するため

株主資本配当率※1
DOE 4% を目安として配当

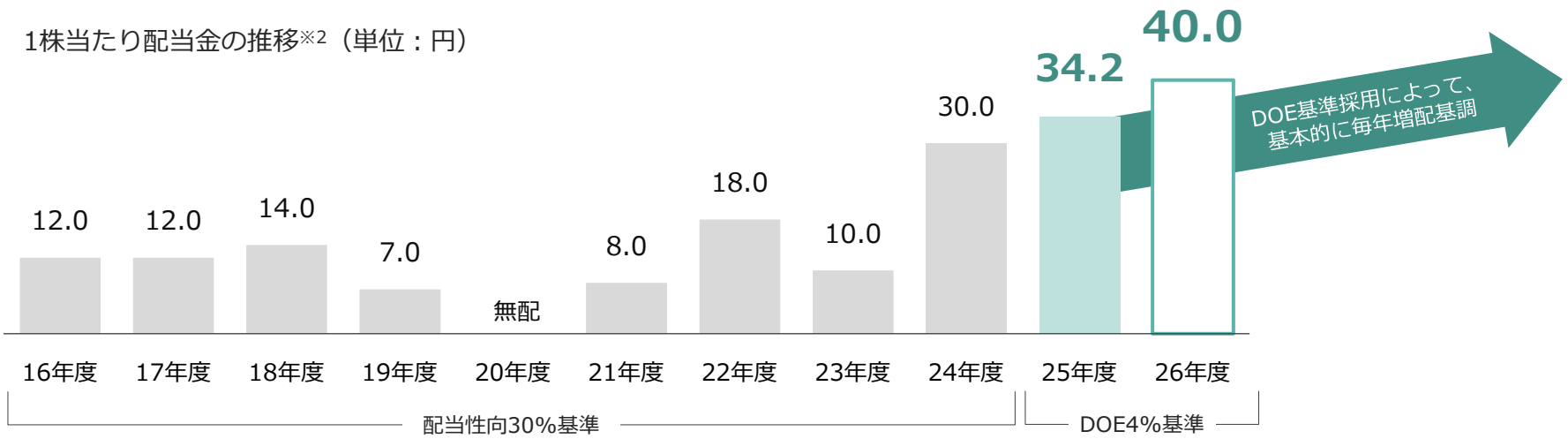
※1 DOE = 年間配当総額 ÷ (親会社所有者帰属持分* ー その他の資本構成要素*)
*期首期末平均値を用いる

1株当たり配当金※2（単位：円）

	’25年度	’26年度 (予)	前期比
中間	15.0	20.0	+5.0
期末	19.2	20.0	+0.8
年間	34.2	40.0	+5.8

※2 ’26年4月1日付 株式分割後（5分割）の株式数を基準として換算

1株当たり配当金の推移※2（単位：円）



© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

4 プロジェクトトピックス

造船AIロボット、坂出工場での実証へ
— フィジカルAIで新たな造船モデルの構築を目指す —

- ‘26年10月 船体に吸着して自律的に溶接・検査・塗装などをこなす多用途「造船AIロボット」の試作機を公開
- ‘27年度に当社坂出工場で実証運用、’28年度に市場投入予定
- **デジタルツイン技術**を活用した、設計～建造各工程の最適化と運用・修繕との組み合わせにより、**次世代デジタルシップヤードの実現**を目指す
- 実証を通じて確立したモデルを国内外へ展開し、造船業と地域経済の持続的発展に貢献



デジタルシップヤードと作業する造船AIロボットのイメージ



（注）造船AIロボットは開発中であり、本資料の記載の用途には今後実装予定のものを含みます

造船業の事業機会と課題

機会 日本政府は造船業再生に向けて、官民で総額1兆円規模の投資を行い、2035年度に国内建造量約2倍を目指す計画

課題 熟練工員の減少、複雑かつ非定型な作業の自動化が困難

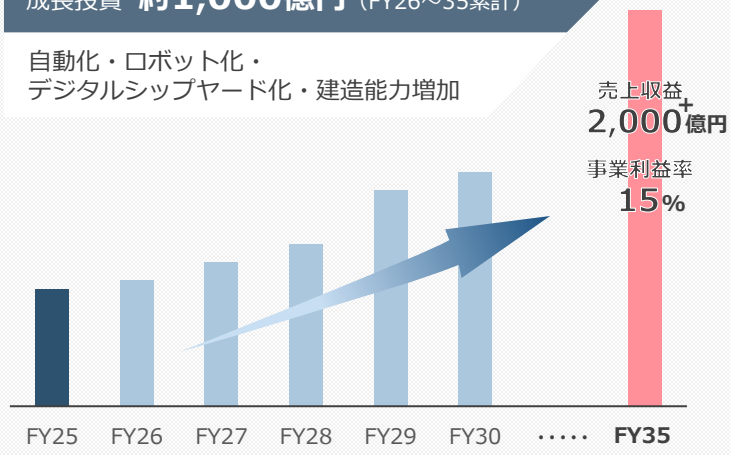
Kawasakiの強みとソリューション
自社内で「開発・実証・改良」を高速循環

ロボット（自動化技術） × 実際の造船現場 × 生産ノウハウ

国内商船事業（坂出）の業績成長イメージ

成長投資 **約1,000億円**（FY26～35累計）

自動化・ロボット化・
デジタルシップヤード化・建造能力増加

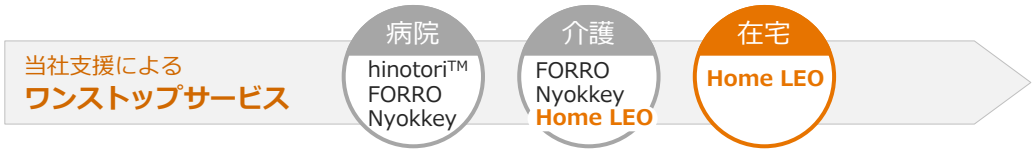


© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

4 プロジェクトトピックス

高齢者の在宅を支援するソーシャルロボット Home LEO の試作機を発表

- 高齢者の在宅にともなう困難や不安にアプローチし、在宅継続を支援することで、QoLの向上と介護・医療費の抑制を目指す
- Home LEO の投入により、ヘルスケアソリューションを在宅領域へ拡張し、ワンストップサービスを構築





Home LEO の 特長

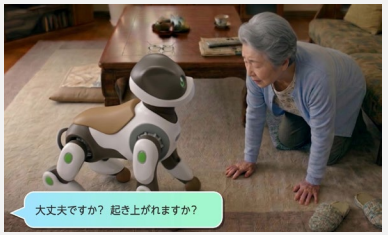
1 利用者に寄りそう

生活習慣や好みを理解



2 安心・安全な生活支援

転倒や火の不始末等のリスクを検知して働きかけ、周囲へ連携



3 フィジカルAIによる自律的な支援

利用者や環境を認識して自律的に行動
物品の探索等を能動的に支援



4 医療・介護とつながる

日常データを取得・蓄積し、医療機関や介護施設と連携

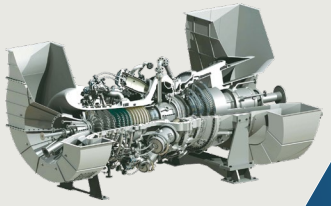


（注）Home LEOの特長には今後実装予定の機能を含みます。また開発中のものを含む製品情報は、企業情報の開示を目的としており、医療機器の宣伝や広告を目的とするものではありません。

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

4 プロジェクトトピックス

カワサキ水素NEWS
ー 国内外で水素サプライチェーン構築･利活用に向けた取り組みが進展 ー



RWE

30MW級水素専焼(水素燃料100%)ガスタービンの設置工事が完了

‘26年9月 RWE Generation SE社が運営するエムスラント発電所内 (独 ニーダーザクセン州リンゲン) にて、当社の30MW級水素専焼ガスタービン「L30A」を用いた発電設備の設置工事が完了

試運転を経て、本プロジェクトでは風力由来のグリーン電力を用いた水電解によるCO_2フリー水素を活用し、30MW級では欧州初となる水素専焼発電システムの実証を実施予定

プレスリリースのURL
https://www.khi.co.jp/pressrelease/detail/20260907_1.html

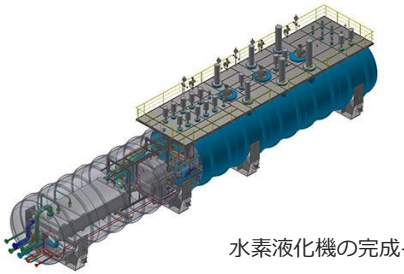


液化水素の受入検討 (仏 グラン･テスト地域) に関する覚書を締結

‘26年9月 仏 グラン･テスト地域圏およびストラスブール自治港と、液化水素の輸送ならびに産業利用の連携検討に関する覚書を締結

ストラスブール港を欧州内陸部の水素受入・供給拠点とするための市場開拓や物流ルート構築などの可能性を3者で共同検討

ニュースのURL
https://www.khi.co.jp/news/detail/20260928_b1.html



水素液化機の完成イメージ

日本最大、液化能力50トン/日の水素液化プラントの建設着手

‘26年10月 川崎LH_2ターミナル（神奈川県川崎市川崎区扇島）において、水素液化プラントの建設に着手

本設備は50トン/日の液化能力を有し、これまで国内で公表されている最大液化能力15トン／日（当社調べ）を大幅に上回る

本設備は、2028年末に完成予定であり、試運転を経て2030年から商用化実証に利用される予定

※ NEDOグリーンイノベーション基金事業 液化水素サプライチェーンの商用化実証

プレスリリースのURL
https://www.khi.co.jp/pressrelease/detail/20261019_1.html

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

4 130周年特集

川崎重工は2026年10月、創立130年を迎えました。
節目の年を彩るさまざまな取り組みを通じて、私たちの歴史や未来への挑戦を社内外に発信していきます。

ブランドムービー「カワる、サキへ。」『創立130周年、そのサキへ。』篇を公開



当社がさまざまなステークホルダーと共に歩んできた130年を振り返りながら、水素社会やフィジカルAIが活躍する、その先に広がる未来も描いています。

松方コレクションの一部が展示される兵庫県立美術館の特別展に特別協賛

川崎重工の初代社長・松方幸次郎（1866-1950）は、約100年前にヨーロッパで西洋美術品を収集し一大コレクション（通称：松方コレクション）を形成しました。

本特別展では、ロダンの彫刻をはじめ、数多くの松方コレクションが展示されています。



「カワサキワールド」がリニューアルオープン



開館以来、川崎重工グループの技術やものづくりの魅力を伝えてきたカワサキワールド。その展示内容を大幅に刷新しました。

ご来神の際は是非お立ち寄りください。

カワサキワールド
神戸市中央区波止場町2-2（神戸海洋博物館内）
10:00 ～ 18:00（入館は17:30まで）

映画「モネ 時の海を渡った絵」特別協賛

『松方コレクション』に関する映像制作を企画し、映画「モネ 時の海を渡った絵」（2027年10月公開予定）に特別協賛しました。

創立130周年という機会に松方の「志」を伝えるプロジェクトとして、当社創立の地である神戸工場の舶用エンジン製造現場や国立西洋美術館などで撮影がおこなわれました。



監　督：安達 もじり
脚　本：桑原 亮子
出　演：林 遣都、上白石 萌音 他
制　作：東映京都撮影所・ミナトスタジオ
配　給：東映

旅行誌「るるぶ」特別編集 オリジナルガイドブック発刊

全国の川崎重工ゆかりのスポットを紹介するオリジナルガイドブック「～全国のKawasaki ゆかりのスポットへ 行こう！～」を発刊しました。

閲覧はデジタルブックで▼

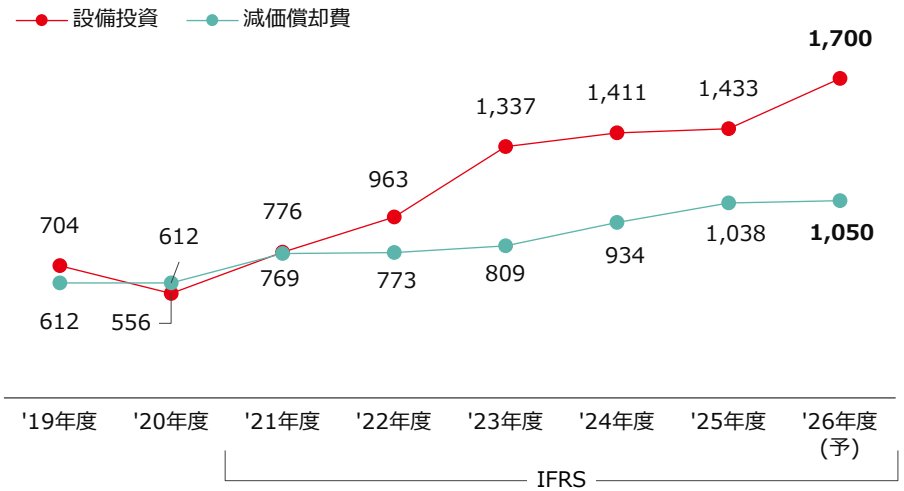


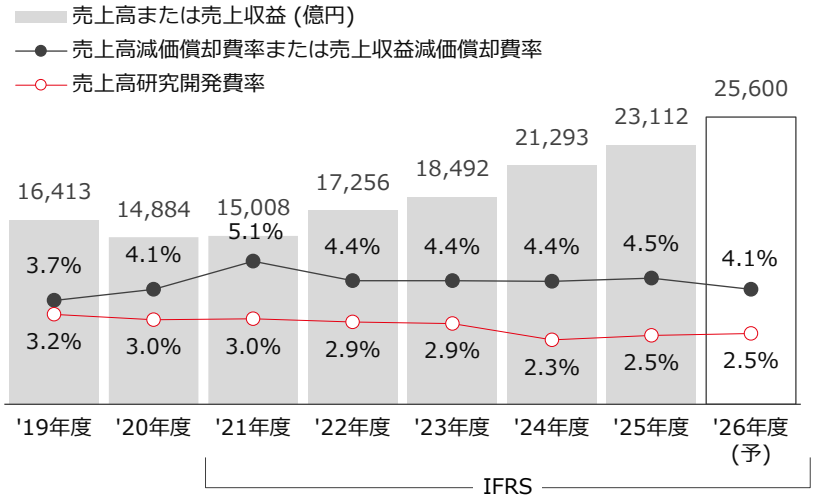
© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

4 参考情報 – 設備投資・減価償却費・研究開発費・期末従業員数

(単位：億円、名)

	'25年度 2Q実績	'26年度 2Q実績	'26年度 前年同期比	'25年度 通期	'26年度予想 従来予想	'26年度予想 修正予想	'26年度予想 前期比	'26年度予想 従来予想比
設備投資	603	**597**	▲ 5	1,433	1,700	**1,700**	+ 267	-
減価償却費	504	**542**	+ 37	1,038	1,105	**1,050**	+ 12	▲ 55
研究開発費	272	**281**	+ 8	568	655	**645**	+ 77	▲ 10
従業員数(期末)				41,652	43,450	**42,740**	+ 1,088	▲ 710
うち国内				30,062	31,590	**31,110**	+ 1,048	▲ 480
うち海外				11,590	11,860	**11,630**	+ 40	▲ 230





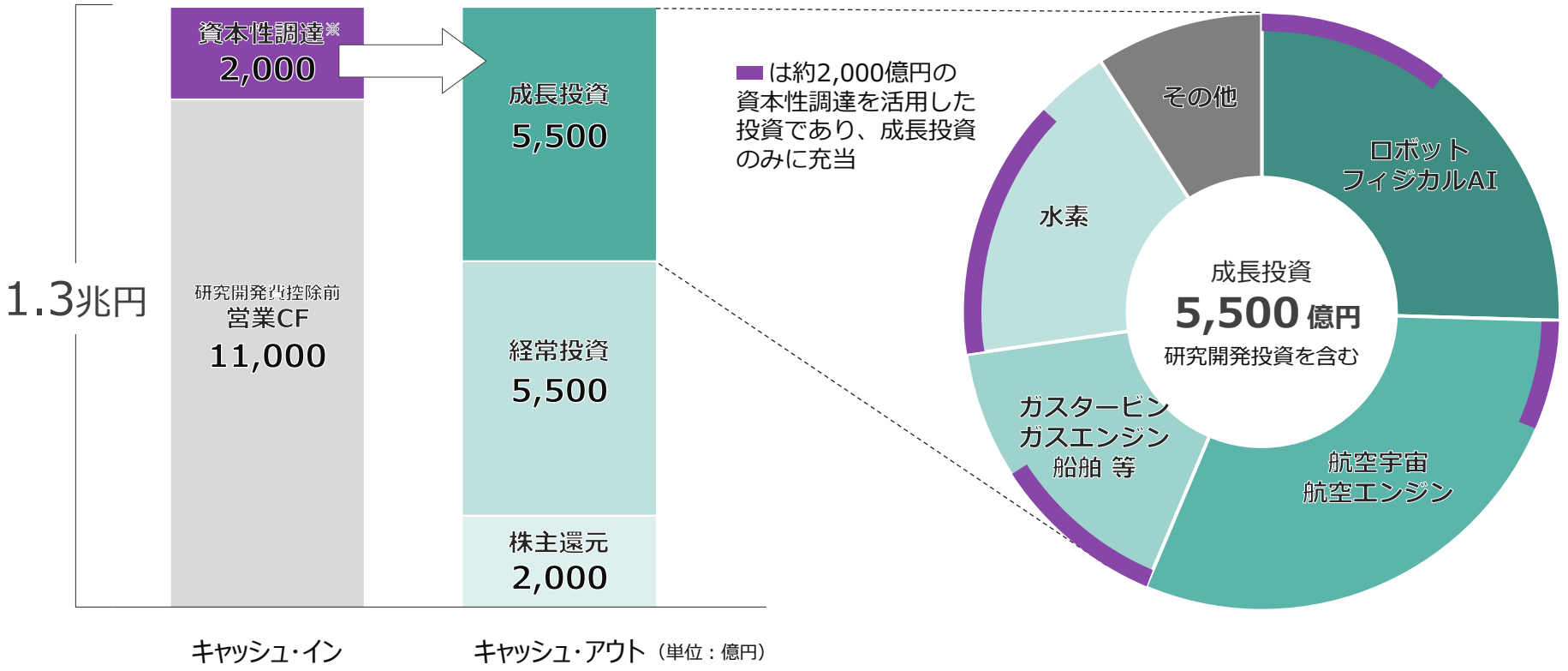
© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

4 参考情報 – キャッシュ・アロケーション

2027～2030年度の４年間で、現在高収益かつ将来の大幅な成長が見込まれる主力事業と、中長期的に飛躍的な成長が見込まれる新規育成事業を中心に投資

キャッシュ・アロケーションの見通し（’27～’30年度の４年間）

※ 資本性調達のキャッシュ・インは’26年度



© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

4 参考情報 – その他

- 四半期別受注高推移 (億円)

	2024年度				2025年度				2026年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
航空宇宙システム	882	1,217	4,701	2,027	989	1,861	3,016	2,241	726	1,314
航空宇宙	543	584	4,356	1,511	651	1,306	2,564	1,186	420	897
航空エンジン	339	633	345	515	338	555	451	1,055	305	417
車両	170	107	132	2,104	148	129	2,579	333	429	144
ｴﾈﾙｷﾞｰｿﾘｭｰｼｮﾝ&ﾏﾘﾝ	1,218	892	2,174	1,135	866	1,509	772	2,380	1,252	1,020
エネルギー・プラント・舶用推進	565	884	976	1,117	815	998	625	2,123	1,214	969
船舶海洋	653	7	1,197	17	51	511	147	257	37	50
精密機械・ロボット	616	630	612	634	639	623	741	781	894	894
油圧機器	360	388	337	388	436	421	417	456	538	506
ロボット	256	241	274	245	202	202	323	324	356	388
パワースポーツ＆エンジン	1,447	1,085	1,639	1,943	1,602	1,324	1,587	2,302	1,705	1,479
その他	233	451	5	242	217	241	228	271	248	301
合計	4,568	4,384	9,265	8,088	4,463	5,691	8,926	8,310	5,257	5,154

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

4 参考情報 – その他

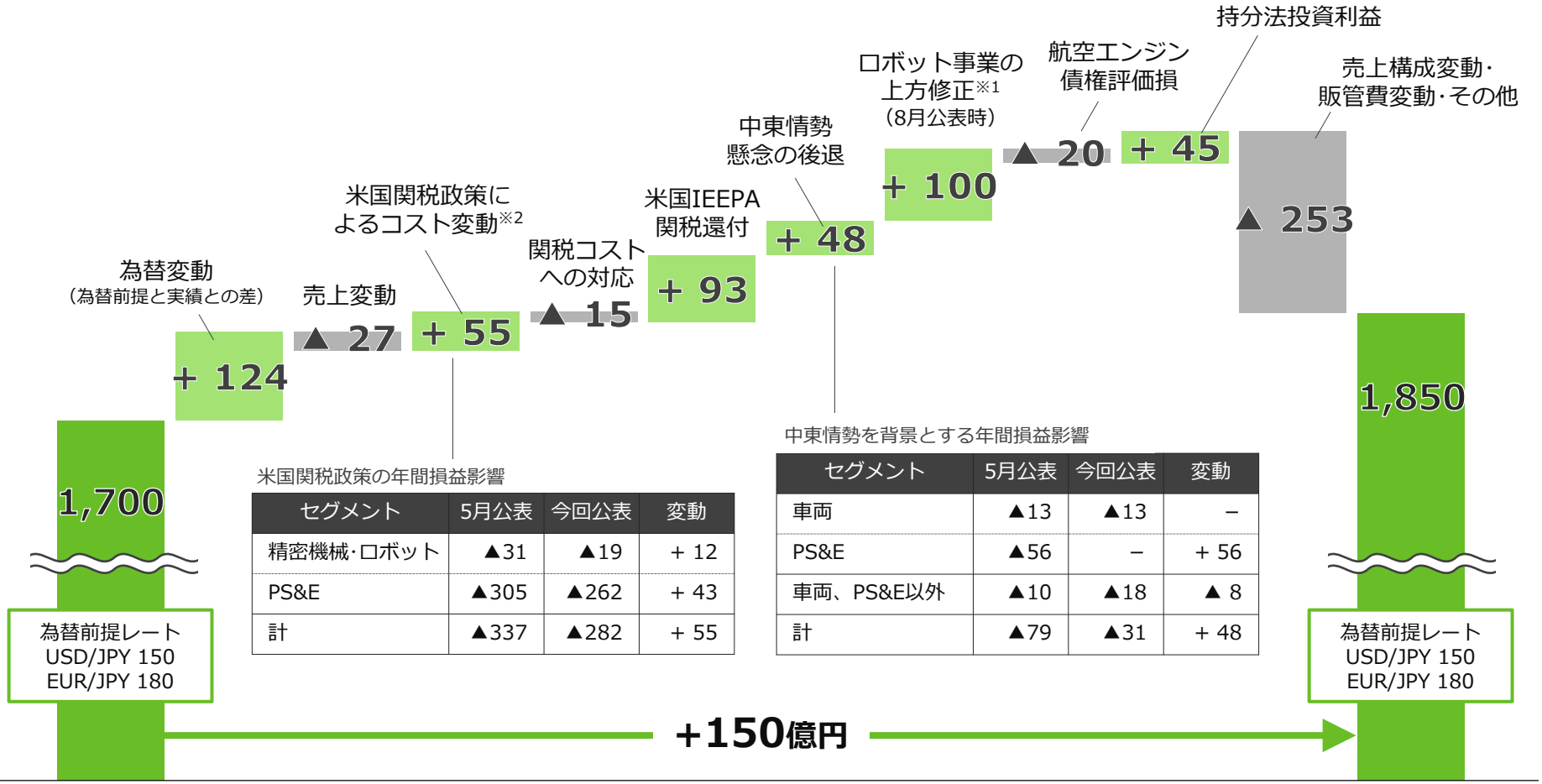
● 防衛関連事業の受注高・売上収益 (億円)

	'25年度	'26年度		'25年度	'26年度予想			
	2Q実績	2Q実績	前年同期比	通期	従来予想	修正予想	前期比	従来予想比
受注高	2,050	**746**	▲ 1,304	5,339	4,420	**4,505**	▲ 834	+ 85
うち 航空機 他	*1,178*	***333***	▲ *845*	*3,832*	*2,605*	*2,650*	▲ *1,182*	+ *45*
航空エンジン	*98*	***84***	▲ *14*	*376*	*155*	*190*	▲ *186*	+ *35*
潜水艦、艦艇用主機 他	*774*	***329***	▲ *445*	*1,131*	*1,660*	*1,665*	+ *534*	+ *5*
売上収益	1,580	**1,812**	+ 232	4,297	5,145	**5,140**	+ 843	▲ 5
[全社の売上収益に占める割合]	*[15.9%]*	*[16.7%]*		*[18.6%]*	*[20.1%]*	*[20.1%]*		
うち 航空機 他	*1,047*	***1,207***	+ *160*	*3,012*	*3,515*	*3,470*	+ *458*	▲ *45*
航空エンジン	*104*	***134***	+ *30*	*297*	*330*	*360*	+ *63*	+ *30*
潜水艦、艦艇用主機 他	*429*	***471***	+ *42*	*988*	*1,300*	*1,310*	+ *322*	+ *10*

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

4 参考情報 - 事業損益増減要因※1（2026年度業績予想）

（注）グラフは5月に公表した期初計画からの変動を示しています。



米国関税政策の年間損益影響

セグメント	5月公表	今回公表	変動
精密機械･ロボット	▲31	▲19	+ 12
PS&E	▲305	▲262	+ 43
計	▲337	▲282	+ 55

中東情勢を背景とする年間損益影響

セグメント	5月公表	今回公表	変動
車両	▲13	▲13	–
PS&E	▲56	–	+ 56
車両、PS&E以外	▲10	▲18	▲ 8
計	▲79	▲31	+ 48

※1 増減要因の各数値は当社が一定の基準を定めて算出した概算値です。為替変動影響はUSDとEURを対象として算出し、その他通貨の変動影響は「売上構成変動･販管費変動･その他」に含まれています。「ロボット事業の上方修正」に示される金額は他の項目で示される金額と一部重複していますが、重複金額は軽微です。

※2 集計対象となる米国輸入関税は、’26年11月10日時点で適用済み及び適用が見込まれる制度・税率に基づいて試算しています。なお、一時的に当社が関税等を負担する場合であっても、当該コストを契約等により取引先等に対して100%転嫁可能なものは集計から除外しています

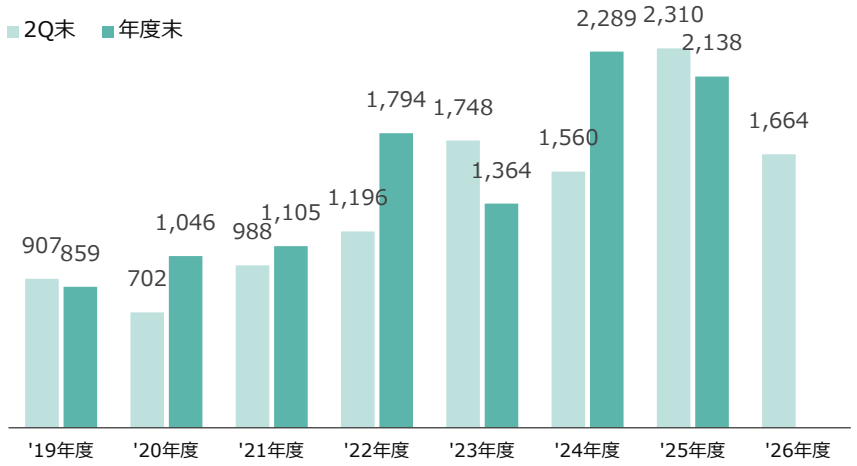
© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

4 参考情報 – その他

● 受注残高 (億円)

	'25年度2Q末	'26年度2Q末	
	実績	実績	増減
航空宇宙ｼｽﾃﾑ	13,428	**14,613**	+ 1,184
車両	4,265	**5,573**	+ 1,308
ｴﾈﾙｷﾞｰｿﾘｭｰｼｮﾝ&ﾏﾘﾝ	8,735	**9,838**	+ 1,102
精密機械･ﾛﾎﾞｯﾄ	1,006	**1,428**	+ 421
ﾊﾟﾜｰｽﾎﾟｰﾂ&ｴﾝｼﾞﾝ	20	**7**	▲ 13
その他	507	**657**	+ 150
合計	27,964	**32,118**	+ 4,153

● 船舶海洋 受注残高の推移 (億円)



● 船種別受注実績および完工年度 (隻)

	受注	完工年度				受注残
	'26年度2Q	'26年度2Q	'26年度3Q~	'27年度	'28年度~	
	実績	実績	予定			
LPG運搬船		2	2	4	2	8
潜水艦			1		1	2
その他					1	1
合計	0	※1 2	3	4	4	※2 11

※1 '26年度2Q完工隻数の総トン数：100,800GT
※2 受注残隻数の総トン数：468,383GT（潜水艦の排水トンはGTに含まない）

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

4 参考情報 – その他

● 地域別売上収益 (億円)

	'25年度2Q	'26年度2Q		
	実績	**実績**	増減	
日本	3,776	**3,792**	+	16
米国	3,255	**3,746**	+	490
欧州	1,027	**1,051**	+	24
アジア	1,358	**1,555**	+	196
その他	544	**699**	+	154
合計	9,962	**10,844**	+	881

※ 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています

2025年度2Q

	日本	米国	欧州	アジア	その他	合計
航空宇宙システム	1,279	780	333	0	32	2,425
車両	366	795	-	32	-	1,193
ｴﾈﾙｷﾞｰｿﾘｭｰｼｮﾝ&ﾏﾘﾝ	1,304	1	124	257	185	1,873
精密機械･ﾛﾎﾞｯﾄ	310	93	69	665	31	1,170
ﾊﾟﾜｰｽﾎﾟｰﾂ&ｴﾝｼﾞﾝ	195	1,582	498	366	285	2,927
その他	319	1	1	37	10	371
合計	3,776	3,255	1,027	1,358	544	9,962
[割合]	*37.9%*	*32.7%*	*10.3%*	*13.6%*	*5.5%*	*100.0%*

2026年度2Q

	日本	米国	欧州	アジア	その他	合計
航空宇宙システム	1,476	945	355	0	49	2,826
車両	203	844	-	51	-	1,099
ｴﾈﾙｷﾞｰｿﾘｭｰｼｮﾝ&ﾏﾘﾝ	1,213	2	108	254	273	1,852
精密機械･ﾛﾎﾞｯﾄ	351	142	90	849	34	1,468
ﾊﾟﾜｰｽﾎﾟｰﾂ&ｴﾝｼﾞﾝ	185	1,808	495	366	332	3,189
その他	362	1	2	32	8	407
合計	3,792	3,746	1,051	1,555	699	10,844
[割合]	*35.0%*	*34.5%*	*9.7%*	*14.3%*	*6.4%*	*100.0%*

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

4 参考情報 – その他

● 通貨別損益影響外貨量※1 (億USD、億EUR)

		'25年度 2Q実績	'26年度 2Q実績	'26年度 3-4Q予想
USD	航空宇宙ｼｽﾃﾑ	※2 4.0	※2 **5.6**	7.9
	車両	1.7	**1.6**	0.1
	ｴﾈﾙｷﾞｰｿﾘｭｰｼｮﾝ&ﾏﾘﾝ	1.6	**1.7**	0.8
	精密機械･ﾛﾎﾞｯﾄ	0.8	**1.1**	0.9
	ﾊﾟﾜｰｽﾎﾟｰﾂ&ｴﾝｼﾞﾝ	3.2	**3.8**	6.1
	合計	※2 11.3	※2 **13.8**	15.8
EUR		2.6	**2.1**	2.3

※1 為替変動に伴い事業利益に影響を与える外貨量であり、 USDおよびEURのみ記載
（川崎重工業、川崎車両、カワサキモータースの外貨建売上から外貨建仕入を控除して算出（損失引当済み案件の外貨建売上を含む））
（例）損益影響外貨量が10億USDある場合、為替レートが対USDで1円円安または円高に変動すると、事業利益が10億円増加または減少

※2 PW1100G-JMエンジンの運航上の重要な問題に係る外貨建返金負債残高を除く

● 売上加重平均レート (EUR/JPY)

’23年度実績	157.09
’24年度実績	163.07
’25年度実績	175.17
’26年度2Q実績	185.32
’26年度前提	180.00

(ご参考) ROIC算出式

税後ROIC = {親会社の所有者に帰属する当期利益 + 支払利息 × (1－実効税率)} ÷投下資本※3

※3 投下資本＝期首･期末平均のNET有利子負債＋期首･期末平均の自己資本

● 調整額内訳 (億円)

	事業損益						
	'25年度 2Q実績	'26年度 2Q実績	'26年度 前期比		'25年度 実績	'26年度 予想	'26年度 前期比
調整額	▲ 101	▲ **99**	+	1	▲ 253	▲ **370**	▲ 117
うち 新規事業投資（本社案件）	▲ *53*	▲ ***60***	▲	*6*	▲ *122*	▲ ***200***	▲ *78*
うち その他の調整	▲ *48*	▲ ***39***	+	*8*	▲ *130*	▲ ***170***	▲ *40*

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved

世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する

“Global Kawasaki”

Kawasaki

Powering your potential